

# **2021 年度（令和 3 年度）第 1 回 福山市市政モニター調査報告書**

**2021 年（令和 3 年）6 月  
市民局市民部市民生活課**

## 《目 次》

<b>第1章 調査方法</b> .....	1
<b>第2章 調査結果</b> .....	4
1 2021年度（令和3年度）予算について .....	4
2 防災について .....	21
3 「（仮称）まちづくり支援拠点施設」の整備について .....	38
4 「図書館の利用，子どもの読書活動」について .....	60
5 福山城築城400年記念事業について .....	67
6 属性 .....	72

# 第1章 調査方法

## 1. 調査の目的

幅広い世代の様々な立場の市民等から意見を聴き、政策や市政運営に繋げることで、市民に身近な市政を実現するため。

## 2. 調査項目

- 2021年度（令和3年度）予算について
- 防災について
- 「（仮称）まちづくり支援拠点施設」の整備について
- 「図書館の利用，子どもの読書活動」について
- 福山城築城400年記念事業について

## 3. 調査概要

- 調査対象者 : 16歳以上の福山市民又は市外在住で福山市政に関心のある方で福山市市政モニターに登録された方
- 対象数 : 769人（インターネット回答者477人 郵送回答者292人）
- 調査期間 : 2021年（令和3年）4月23日～2021年（令和3年）5月7日
- 調査方法 : インターネット（福山市電子申請サービス）及び郵送により実施
- 分析方法 : 単純集計及び属性（年齢，性別，地域，職業等，子育て世帯）のクロス集計を実施

## 4. 発送・回収状況

	発送数	回収数	回収率
インターネット回答	477件	320件	67.1%
郵送回答	292件	214件	73.3%
合計	769件	534件	69.4%

【年齢】

区分	モニター数	回答数	回答率
10歳代	50件	28件	56.0%
20歳代	123件	78件	63.4%
30歳代	140件	91件	65.0%
40歳代	129件	83件	64.3%
50歳代	104件	74件	71.2%
60歳代	102件	80件	78.4%
70歳以上	121件	100件	82.6%

【性別】

区分	モニター数	回答数	回答率
男性	365件	254件	69.6%
女性	399件	277件	69.4%
その他	5件	3件	60.0%

【地域】

区分	モニター数	回答数	回答率
中部	342件	238件	69.6%
南部	49件	35件	71.4%
松永	42件	34件	81.0%
北部	113件	71件	62.8%
東部	107件	75件	70.1%
神辺	56件	44件	78.6%
市内（小学校区不明）	50件	33件	66.0%
市外	10件	4件	40.0%

【職業等】

区分	モニター数	回答数	回答率
正規雇用労働者	284件	183件	64.4%
非正規雇用労働者	83件	61件	73.5%
自営業	52件	40件	76.9%
主夫・主婦	124件	98件	79.0%
学生	80件	48件	60.0%
その他	146件	104件	71.2%

【子育て世帯】

区分	モニター数	回答数	回答率
はい	206件	144件	69.9%
いいえ	493件	348件	70.6%
不明	70件	42件	60.0%

## 5. 調査集計にあたっての留意事項

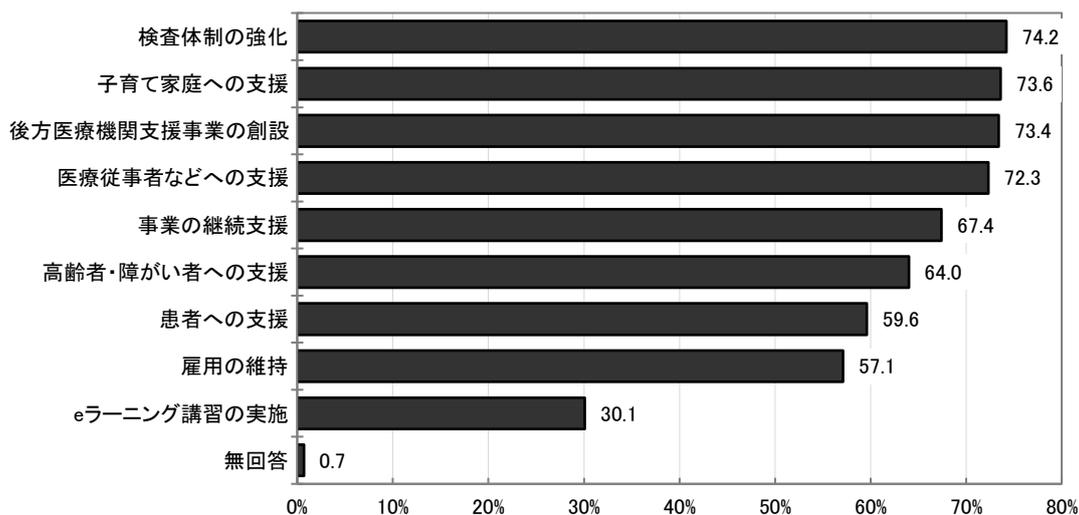
- 回答結果は、各項目の無回答を含む回答数に対する百分率（％）で示し、小数点第2位を四捨五入して小数点第1位までを表示している。そのため、単数回答（複数の選択肢から1つの選択肢を選ぶ方式）であっても合計値が100%にならない場合がある。
  
- 複数回答（複数の選択肢から2つ以上の選択肢を選ぶことができる方式）の設問の場合、回答は選択肢ごとの回答数に対しての、それぞれの比率を示している。そのため、合計が100%を超える場合がある。
  
- 本文中の設問の選択肢が長い場合は、簡略化している場合があります。
  
- 本報告書においてクロス集計は、無回答がある為、合計人数は全体の人数と合致しません。
  
- クロス集計で、母数が少ない項目に関しては、分析文を省略しています。
  
- クロス集計における表中の赤字は全体の回答率より5.0ポイント大きい項目、青字は全体の回答率より5.0ポイント小さい項目となっています。

## 第2章 調査結果

### 1 2021年度（令和3年度）予算について

問1 重点政策の柱「1 新型コロナウイルス感染症対策の強化」のうち、その成果に期待したいと思うもの全てに「○」を記入してください。

「検査体制の強化」が74.2%で最も高くなっています。次いで「子育て家庭への支援」が73.6%、「後方医療機関支援事業の創設」が73.4%、「医療従事者などへの支援」が72.3%で続いています。



性別で見ると、男女ともに大きな差はみられません。

子育て世帯別で見ると、『はい(子育て世帯)』では「後方医療機関支援事業の創設」、『いいえ(子育て世帯以外)』では「高齢者・障がい者への支援」の割合が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	534	254	277	3	144	348	42
後方医療機関支援事業の創設	73.4	69.7	76.5	100.0	79.9	71.6	66.7
検査体制の強化	74.2	74.0	74.4	66.7	68.8	76.4	73.8
患者への支援	59.6	62.2	57.0	66.7	56.3	60.3	64.3
医療従事者などへの支援	72.3	71.3	73.3	66.7	75.0	69.3	88.1
eラーニング講習の実施	30.1	29.1	31.4	-	25.7	31.3	35.7
子育て家庭への支援	73.6	73.2	73.6	100.0	78.5	72.1	69.0
高齢者・障がい者への支援	64.0	62.6	65.3	66.7	50.0	70.1	61.9
雇用の維持	57.1	53.9	60.6	-	57.6	56.9	57.1
事業の継続支援	67.4	66.1	68.2	100.0	70.1	68.1	52.4
無回答	0.7	1.6	-	-	0.7	0.6	2.4

年齢別でみると、『30 歳代』『40 歳代』では「後方医療機関支援事業の創設」、『60 歳代』『70 歳代』では「検査体制の強化」「e ラーニング講習の実施」「高齢者・障がい者への支援」の割合が共通して高くなっています。『10 歳代』では「雇用の維持」、『20 歳代』では「子育て家庭への支援」、『40 歳代』では「事業の継続支援」、『70 歳以上』では「患者への支援」「医療従事者などへの支援」の割合が高くなっています。

	年齢						
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	28	78	91	83	74	80	100
後方医療機関支援事業の創設	64.3	64.1	85.7	80.7	68.9	67.5	74.0
検査体制の強化	60.7	75.6	70.3	66.3	68.9	80.0	86.0
患者への支援	53.6	53.8	51.6	60.2	56.8	63.7	71.0
医療従事者などへの支援	60.7	73.1	69.2	73.5	70.3	66.3	83.0
eラーニング講習の実施	32.1	20.5	23.1	27.7	21.6	40.0	44.0
子育て家庭への支援	71.4	84.6	76.9	72.3	64.9	72.5	71.0
高齢者・障がい者への支援	57.1	52.6	48.4	65.1	66.2	81.3	73.0
雇用の維持	64.3	59.0	56.0	59.0	55.4	52.5	58.0
事業の継続支援	64.3	57.7	68.1	74.7	62.2	68.8	72.0
無回答	-	1.3	-	-	1.4	-	2.0

地域別でみると、『南部』では「子育て家庭への支援」、『松永』では「検査体制の強化」、『北部』では「患者への支援」「医療従事者などへの支援」「高齢者・障がい者への支援」、『東部』では「後方医療機関支援事業の創設」「e ラーニング講習の実施」、『神辺』では「後方医療機関支援事業の創設」「検査体制の強化」「e ラーニング講習の実施」「子育て家庭への支援」「高齢者・障がい者への支援」の割合が高くなっています。

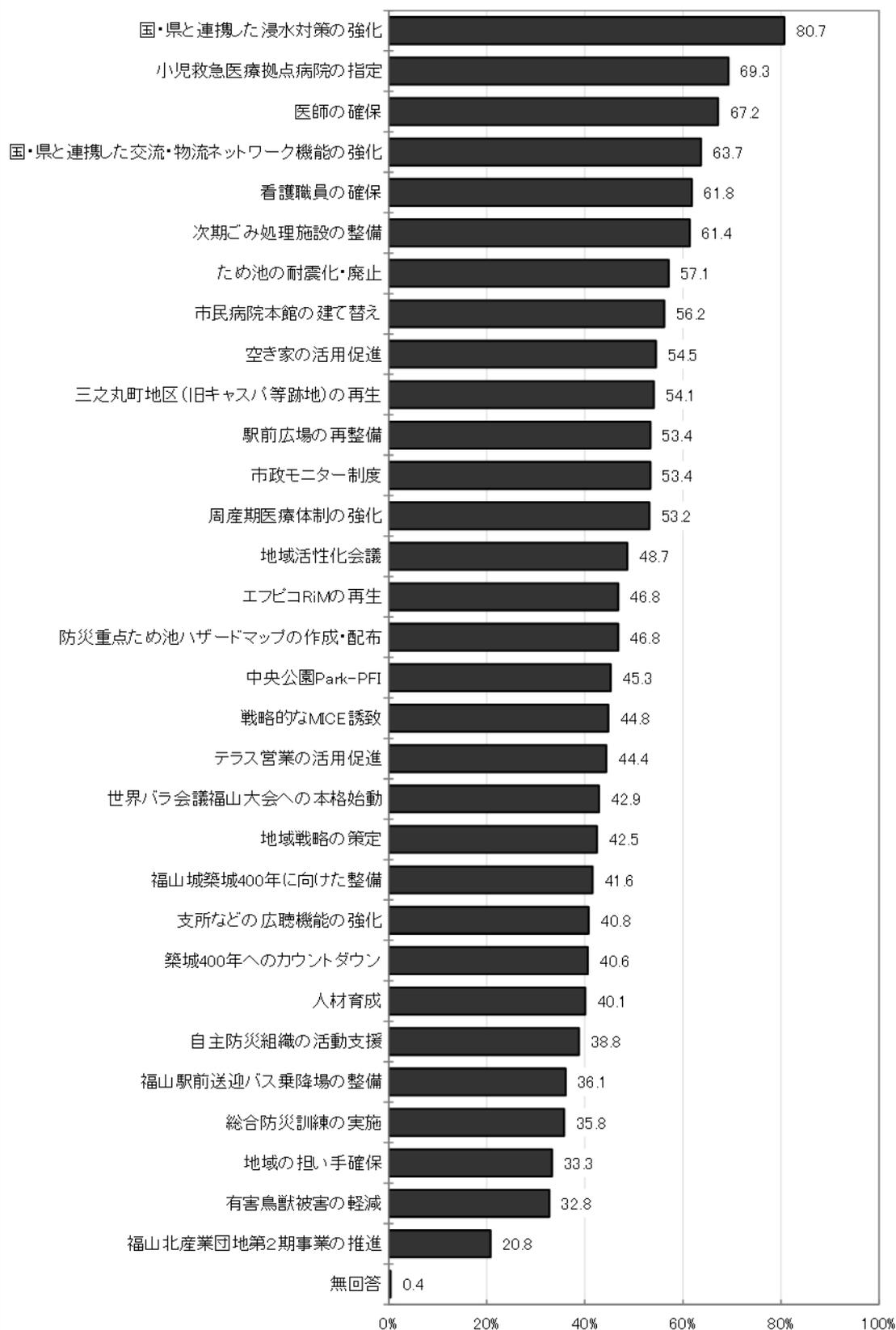
	地域							
	中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	238	35	34	71	75	44	33	4
後方医療機関支援事業の創設	71.4	77.1	67.6	66.2	81.3	81.8	75.8	75.0
検査体制の強化	72.7	68.6	82.4	74.6	73.3	84.1	72.7	50.0
患者への支援	62.2	42.9	50.0	71.8	57.3	56.8	54.5	25.0
医療従事者などへの支援	69.3	74.3	73.5	78.9	76.0	70.5	69.7	75.0
eラーニング講習の実施	26.9	25.7	29.4	32.4	37.3	40.9	24.2	25.0
子育て家庭への支援	70.2	80.0	76.5	77.5	73.3	79.5	72.7	75.0
高齢者・障がい者への支援	63.0	62.9	52.9	70.4	58.7	72.7	69.7	75.0
雇用の維持	57.6	60.0	61.8	60.6	49.3	59.1	54.5	50.0
事業の継続支援	72.3	54.3	61.8	64.8	56.0	68.2	81.8	75.0
無回答	0.4	2.9	2.9	-	1.3	-	-	-

職業別でみると、『自営業』では「子育て家庭への支援」「事業の継続支援」,『主夫・主婦』では「後方医療機関支援事業の創設」「検査体制の強化」「患者への支援」「e ラーニング講習の実施」「雇用の維持」,『学生』では「雇用の維持」の割合が高くなっています。

	職業等					
	正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	183	61	40	98	48	104
後方医療機関支援事業の創設	71.6	77.0	70.0	79.6	64.6	74.0
検査体制の強化	70.5	70.5	70.0	80.6	63.8	80.8
患者への支援	56.3	54.1	57.5	66.3	56.3	64.4
医療従事者などへの支援	71.6	72.1	57.5	75.5	68.8	77.9
eラーニング講習の実施	19.7	31.1	30.0	43.9	27.1	36.5
子育て家庭への支援	69.9	73.8	82.5	74.5	77.1	74.0
高齢者・障がい者への支援	60.1	62.3	57.5	65.3	54.2	77.9
雇用の維持	54.1	60.7	42.5	62.2	70.8	54.8
事業の継続支援	64.5	68.9	87.5	70.4	52.1	68.3
無回答	-	-	-	3.1	-	1.0

問2 重点政策の柱「2 都市魅力の創造」のうち、その成果に期待したいと思うもの全てに「○」を記入してください。

「国・県と連携した浸水対策の強化」が80.7%で最も高くなっています。次いで「小児救急医療拠点病院の指定」が69.3%、「医師の確保」が67.2%で続いています。



---

性別で見ると、『男性』では「地域戦略の策定」「地域活性化会議」「支所などの広聴機能の強化」の割合が高くなっています。

子育て世帯別で見ると、『はい(子育て世帯)』では「エフピコ RiM の再生」「三之丸町地区(旧キャスパ等跡地)の再生」「中央公園 Park-PFI」「小児救急医療拠点病院の指定」「戦略的な MICE 誘致」の割合が高くなっています。

---

年齢別で見ると、主に『10 歳代』から『30 歳代』まででは「エフピコ RiM の再生」、『30 歳代』『40 歳代』では「小児救急医療拠点病院の指定」、『60 歳代』『70 歳以上』では「福山城築城 400 年に向けた整備」の割合が共通して高くなっています。『10 歳代』では「世界バラ会議福山大会への本格始動」、『70 歳以上』では「人材育成」の割合が高くなっています。また、年齢が上がるにつれて「地域活性化会議」「次期ごみ処理施設の整備」の割合が高くなっています。

---

地域別で見ると、主に『中部』では「国・県と連携した交流・物流ネットワーク機能の強化」「世界バラ会議福山大会への本格始動」、『南部』では「中央公園 Park-PFI」「ため池の耐震化・廃止」、『松永』では「空き家の活用促進」「周産期医療体制の強化」、『北部』では「福山城築城 400 年に向けた整備」「支所などの広聴機能の強化」、『東部』では「三之丸町地区(旧キャスパ等跡地)の再生」「市民病院本館の建て替え」、『神辺』では「小児救急医療拠点病院の指定」「国・県と連携した浸水対策の強化」の割合が高くなっています。

---

職業別で見ると、主に『非正規雇用労働者』では「小児救急医療拠点病院の指定」「次期ごみ処理施設の整備」、『自営業』では「医師の確保」「国・県と連携した交流・物流ネットワーク機能の強化」、『主夫・主婦』では「医師の確保」「次期ごみ処理施設の整備」、『学生』では「駅前広場の再整備」「空き家の活用促進」の割合が高くなっています。

---

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	534	254	277	3	144	348	42
駅前広場の再整備	53.4	55.5	51.3	66.7	52.8	53.2	57.1
福山駅前送迎バス乗降場の整備	36.1	38.6	33.9	33.3	27.1	38.2	50.0
テラス営業の活用促進	44.4	44.9	43.7	66.7	47.2	44.0	38.1
エフピコRiMの再生	46.8	41.7	51.3	66.7	54.9	43.7	45.2
福山城築城400年に向けた整備	41.6	44.9	38.6	33.3	30.6	46.0	42.9
三之丸町地区(旧キャスパ等跡地)の再生	54.1	52.0	56.0	66.7	61.8	51.4	50.0
中央公園Park-PFI	45.3	41.3	48.4	100.0	52.1	42.0	50.0
地域戦略の策定	42.5	48.8	36.8	33.3	38.2	43.4	50.0
市政モニター制度	53.4	54.7	52.0	66.7	49.3	54.6	57.1
地域活性化会議	48.7	54.7	42.6	100.0	39.6	52.6	47.6
支所などの広聴機能の強化	40.8	46.1	35.7	66.7	36.8	40.8	54.8
空き家の活用促進	54.5	51.2	57.4	66.7	56.9	53.2	57.1
地域の担い手確保	33.3	37.4	30.0	-	34.0	31.9	42.9
有害鳥獣被害の軽減	32.8	32.3	32.9	66.7	24.3	34.8	45.2
市民病院本館の建て替え	56.2	58.3	54.2	66.7	56.9	54.9	64.3
小児救急医療拠点病院の指定	69.3	65.7	72.6	66.7	81.3	63.8	73.8
周産期医療体制の強化	53.2	47.6	57.8	100.0	56.9	51.1	57.1
医師の確保	67.2	65.7	68.6	66.7	66.7	67.8	64.3
看護職員の確保	61.8	60.6	62.5	100.0	59.7	63.2	57.1
国・県と連携した浸水対策の強化	80.7	79.1	82.7	33.3	79.2	81.0	83.3
ため池の耐震化・廃止	57.1	56.7	57.4	66.7	56.9	56.3	64.3
防災重点ため池ハザードマップの作成・配布	46.8	46.5	46.9	66.7	45.1	46.8	52.4
自主防災組織の活動支援	38.8	41.7	36.1	33.3	41.0	37.6	40.5
人材育成	40.1	44.5	36.5	-	34.7	41.4	47.6
総合防災訓練の実施	35.8	36.2	35.0	66.7	33.3	35.3	47.6
国・県と連携した 交流・物流ネットワーク機能の強化	63.7	68.1	59.6	66.7	59.7	65.8	59.5
福山北産業団地第2期事業の推進	20.8	23.2	18.4	33.3	19.4	22.1	14.3
次期ごみ処理施設の整備	61.4	60.2	62.1	100.0	57.6	63.5	57.1
戦略的なMICE誘致	44.8	47.6	42.6	-	52.8	43.1	31.0
築城400年へのカウントダウン	40.6	40.6	40.8	33.3	36.1	42.8	38.1
世界バラ会議福山大会への本格始動	42.9	37.8	47.7	33.3	35.4	44.8	52.4
無回答	0.4	0.4	0.4	-	0.7	0.3	-

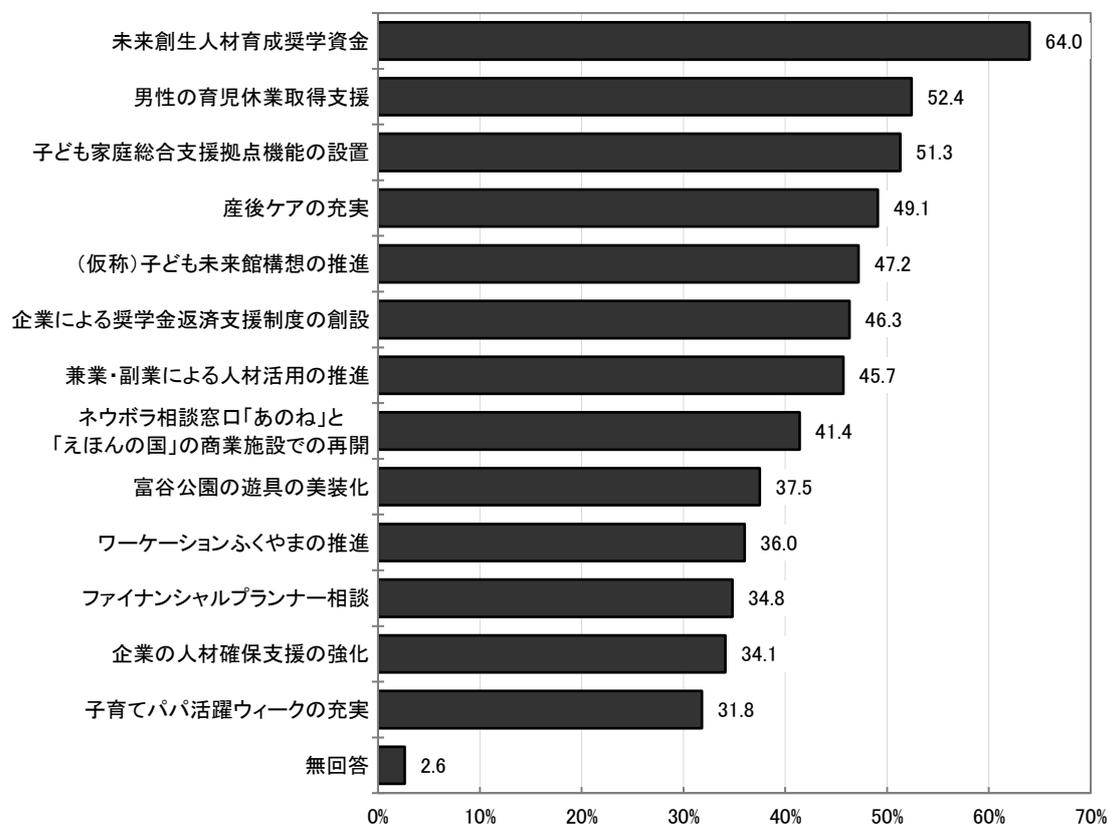
	年齢						
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	28	78	91	83	74	80	100
駅前広場の再整備	57.1	48.7	59.3	49.4	41.9	53.8	62.0
福山駅前送迎バス乗降場の整備	42.9	26.9	27.5	31.3	25.7	47.5	52.0
テラス営業の活用促進	32.1	42.3	37.4	50.6	51.4	41.3	48.0
エフピコRiMの再生	53.6	56.4	54.9	47.0	35.1	35.0	48.0
福山城築城400年に向けた整備	39.3	29.5	34.1	36.1	35.1	47.5	63.0
三之丸町地区(旧キャスパ等跡地)の再生	46.4	50.0	58.2	63.9	58.1	40.0	56.0
中央公園Park-PFI	35.7	51.3	52.7	36.1	37.8	46.3	49.0
地域戦略の策定	46.4	41.0	39.6	34.9	40.5	43.8	52.0
市政モニター制度	42.9	51.3	48.4	54.2	48.6	52.5	66.0
地域活性化会議	32.1	35.9	44.0	44.6	51.4	55.0	64.0
支所などの広聴機能の強化	35.7	29.5	42.9	30.1	41.9	41.3	57.0
空き家の活用促進	60.7	57.7	53.8	55.4	62.2	41.3	55.0
地域の担い手確保	28.6	29.5	28.6	33.7	37.8	33.8	38.0
有害鳥獣被害の軽減	25.0	28.2	22.0	24.1	35.1	43.8	45.0
市民病院本館の建て替え	57.1	57.7	56.0	56.6	43.2	56.3	64.0
小児救急医療拠点病院の指定	64.3	64.1	79.1	74.7	63.5	67.5	67.0
周産期医療体制の強化	42.9	47.4	58.2	49.4	60.8	47.5	58.0
医師の確保	71.4	59.0	67.0	67.5	64.9	65.0	76.0
看護職員の確保	50.0	50.0	59.3	65.1	62.2	62.5	73.0
国・県と連携した浸水対策の強化	75.0	79.5	81.3	84.3	78.4	77.5	84.0
ため池の耐震化・廃止	42.9	39.7	60.4	59.0	59.5	63.7	63.0
防災重点ため池ハザードマップの作成・配布	39.3	52.6	49.5	43.4	41.9	46.3	49.0
自主防災組織の活動支援	35.7	24.4	40.7	38.6	36.5	40.0	50.0
人材育成	35.7	25.6	31.9	38.6	35.1	40.0	65.0
総合防災訓練の実施	46.4	29.5	37.4	32.5	33.8	35.0	41.0
国・県と連携した 交流・物流ネットワーク機能の強化	67.9	66.7	64.8	61.4	59.5	56.3	70.0
福山北産業団地第2期事業の推進	17.9	20.5	18.7	18.1	18.9	18.8	29.0
次期ごみ処理施設の整備	46.4	48.7	53.8	56.6	71.6	70.0	72.0
戦略的なMICE誘致	50.0	48.7	51.6	49.4	44.6	33.8	39.0
築城400年へのカウントダウン	39.3	30.8	35.2	44.6	39.2	37.5	54.0
世界パラ会議福山大会への本格始動	60.7	43.6	36.3	45.8	37.8	33.8	52.0
無回答	-	1.3	-	-	-	-	1.0

	地域							
	中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	238	35	34	71	75	44	33	4
駅前広場の再整備	57.1	45.7	52.9	46.5	53.3	54.5	48.5	50.0
福山駅前送迎バス乗降場の整備	38.2	25.7	32.4	35.2	36.0	38.6	33.3	50.0
テラス営業の活用促進	47.5	48.6	47.1	42.3	42.7	45.5	27.3	-
エフピコRiMの再生	51.3	42.9	55.9	42.3	38.7	43.2	42.4	50.0
福山城築城400年に向けた整備	42.0	31.4	35.3	50.7	37.3	43.2	42.4	50.0
三之丸町地区(旧キャスパ等跡地)の再生	55.0	42.9	58.8	49.3	60.0	52.3	51.5	75.0
中央公園Park-PFI	48.7	54.3	35.3	42.3	48.0	38.6	36.4	-
地域戦略の策定	43.3	42.9	41.2	45.1	38.7	36.4	48.5	50.0
市政モニター制度	55.0	48.6	47.1	47.9	58.7	54.5	48.5	75.0
地域活性化会議	48.7	48.6	41.2	49.3	53.3	50.0	42.4	50.0
支所などの広聴機能の強化	37.0	42.9	44.1	54.9	44.0	50.0	15.2	25.0
空き家の活用促進	51.7	57.1	61.8	56.3	53.3	59.1	57.6	50.0
地域の担い手確保	38.7	22.9	26.5	26.8	38.7	31.8	21.2	-
有害鳥獣被害の軽減	31.1	22.9	41.2	33.8	26.7	45.5	36.4	75.0
市民病院本館の建て替え	59.2	34.3	41.2	60.6	61.3	61.4	45.5	50.0
小児救急医療拠点病院の指定	67.6	71.4	73.5	66.2	73.3	81.8	60.6	25.0
周産期医療体制の強化	53.8	45.7	58.8	46.5	53.3	70.5	45.5	25.0
医師の確保	68.9	68.6	61.8	70.4	65.3	59.1	66.7	75.0
看護職員の確保	62.2	62.9	61.8	60.6	60.0	63.6	60.6	75.0
国・県と連携した浸水対策の強化	83.2	74.3	70.6	78.9	74.7	90.9	87.9	50.0
ため池の耐震化・廃止	58.8	62.9	50.0	59.2	53.3	59.1	51.5	25.0
防災重点ため池ハザードマップの作成・配布	48.7	34.3	44.1	47.9	44.0	50.0	48.5	50.0
自主防災組織の活動支援	41.6	31.4	38.2	42.3	32.0	43.2	33.3	-
人材育成	40.3	48.6	35.3	45.1	38.7	40.9	27.3	25.0
総合防災訓練の実施	40.3	22.9	38.2	31.0	30.7	38.6	33.3	25.0
国・県と連携した 交流・物流ネットワーク機能の強化	71.0	57.1	64.7	57.7	56.0	52.3	57.6	100.0
福山北産業団地第2期事業の推進	20.6	17.1	14.7	31.0	17.3	22.7	12.1	50.0
次期ごみ処理施設の整備	61.3	51.4	61.8	57.7	65.3	65.9	66.7	50.0
戦略的なMICE誘致	44.5	45.7	50.0	38.0	50.7	38.6	48.5	50.0
築城400年へのカウントダウン	42.4	37.1	29.4	43.7	38.7	45.5	33.3	50.0
世界パラ会議福山大会への本格始動	49.2	42.9	52.9	26.8	36.0	36.4	48.5	25.0
無回答	-	5.7	-	-	-	-	-	-

	職業等					
	正規雇用 労働者	非正規雇用 労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	183	61	40	98	48	104
駅前広場の再整備	44.3	59.0	60.0	59.2	60.4	54.8
福山駅前送迎バス乗降場の整備	26.8	26.2	27.5	48.0	41.7	48.1
テラス営業の活用促進	45.4	42.6	52.5	44.9	39.6	42.3
エフビコRiMの再生	45.9	45.9	27.5	55.1	56.3	44.2
福山城築城400年に向けた整備	38.3	29.5	40.0	51.0	37.5	48.1
三之丸町地区(旧キャスパ等跡地)の再生	51.9	60.7	47.5	62.2	50.0	51.0
中央公園Park-PFI	44.8	41.0	42.5	54.1	41.7	43.3
地域戦略の策定	37.2	37.7	35.0	44.9	50.0	51.9
市政モニター制度	48.1	57.4	62.5	55.1	56.3	53.8
地域活性化会議	45.4	47.5	47.5	51.0	39.6	57.7
支所などの広聴機能の強化	33.3	41.0	45.0	44.9	33.3	51.9
空き家の活用促進	56.3	47.5	40.0	58.2	64.6	52.9
地域の担い手確保	32.8	29.5	40.0	40.8	25.0	30.8
有害鳥獣被害の軽減	21.9	34.4	30.0	40.8	29.2	46.2
市民病院本館の建て替え	53.6	57.4	57.5	60.2	56.3	55.8
小児救急医療拠点病院の指定	72.1	82.0	60.0	73.5	54.2	63.5
周産期医療体制の強化	49.2	67.2	37.5	60.2	39.6	57.7
医師の確保	60.1	63.9	72.5	73.5	70.8	72.1
看護職員の確保	58.5	62.3	55.0	62.2	56.3	72.1
国・県と連携した浸水対策の強化	81.4	83.6	75.0	80.6	75.0	82.7
ため池の耐震化・廃止	53.6	65.6	65.0	59.2	45.8	58.7
防災重点ため池ハザードマップの作成・配布	43.2	47.5	40.0	53.1	56.3	45.2
自主防災組織の活動支援	36.6	34.4	37.5	44.9	31.3	43.3
人材育成	31.7	31.1	42.5	52.0	33.3	51.0
総合防災訓練の実施	30.6	37.7	25.0	37.8	41.7	43.3
国・県と連携した 交流・物流ネットワーク機能の強化	65.0	67.2	72.5	61.2	64.6	57.7
福山北産業団地第2期事業の推進	19.1	16.4	15.0	24.5	22.9	24.0
次期ごみ処理施設の整備	58.5	68.9	60.0	67.3	47.9	63.5
戦略的なMICE誘致	47.5	44.3	55.0	37.8	56.3	37.5
築城400年へのカウントダウン	36.6	27.9	37.5	53.1	39.6	45.2
世界バラ会議福山大会への本格始動	38.8	37.7	35.0	55.1	50.0	41.3
無回答	-	-	-	2.0	-	-

問3 重点政策の柱「3 人口減少対策の強化」のうち、その成果に期待したいと思うもの全てに「○」を記入してください。

「未来創生人材育成奨学資金」が64.0%で最も高くなっています。次いで「男性の育児休業取得支援」が52.4%、「子ども家庭総合支援拠点機能の設置」が51.3%が続いています。



性別で見ると、『男性』では「ネウボラ相談窓口「あのね」と「えほんの国」の商業施設での再開」の割合が低くなっています。

子育て世帯別で見ると、『はい(子育て世帯)』では「ネウボラ相談窓口「あのね」と「えほんの国」の商業施設での再開」「子ども家庭総合支援拠点機能の設置」「(仮称)子ども未来館構想の推進」「富谷公園の遊具の美装化」「兼業・副業による人材活用の推進」の割合が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	534	254	277	3	144	348	42
男性の育児休業取得支援	52.4	51.6	53.4	33.3	53.5	50.9	61.9
子育てパパ活躍ウィークの充実	31.8	32.3	31.0	66.7	33.3	29.9	42.9
ネウボラ相談窓口 「あのね」と「えほんの国」の商業施設での再開	41.4	36.2	45.8	66.7	52.1	36.5	45.2
ファイナンシャルプランナー相談	34.8	31.5	37.9	33.3	34.0	34.8	38.1
子ども家庭総合支援拠点機能の設置	51.3	53.1	49.5	66.7	61.8	47.1	50.0
産後ケアの充実	49.1	45.3	52.3	66.7	47.2	50.6	42.9
(仮称)子ども未来館構想の推進	47.2	46.5	48.0	33.3	62.5	41.1	45.2
富谷公園の遊具の美装化	37.5	33.5	40.8	66.7	50.0	32.2	38.1
未来創生人材育成奨学資金	64.0	62.6	65.3	66.7	68.1	62.6	61.9
企業による奨学金返済支援制度の創設	46.3	48.4	44.0	66.7	45.8	46.3	47.6
企業の人材確保支援の強化	34.1	34.3	33.6	66.7	36.1	33.6	31.0
ワーケーションふくやまの推進	36.0	36.6	35.7	-	38.2	35.6	31.0
兼業・副業による人材活用の推進	45.7	45.7	46.2	-	53.5	42.5	45.2
無回答	2.6	3.1	2.2	-	0.7	2.9	7.1

年齢別でみると、主に『10歳代』から『30歳代』までは「男性の育児休業取得支援」、『10歳代』『20歳代』では「子育てパパ活躍ウィークの充実」、『20歳代』『30歳代』では「産後ケアの充実」、『30歳代』『40歳代』では「(仮称)子ども未来館構想の推進」、『40歳代』『50歳代』では「兼業・副業による人材活用の推進」の割合が共通して高くなっています。『10歳代』では「企業による奨学金返済支援制度の創設」、『30歳代』では「ネウボラ相談窓口「あのね」と「えほんの国」の商業施設での再開」、『70歳以上』では「未来創生人材育成奨学資金」の割合が高くなっています。

	年齢						
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	28	78	91	83	74	80	100
男性の育児休業取得支援	64.3	69.2	59.3	44.6	33.8	45.0	56.0
子育てパパ活躍ウィークの充実	42.9	39.7	33.0	24.1	21.6	25.0	41.0
ネウボラ相談窓口 「あのね」と「えほんの国」の商業施設での再開	25.0	35.9	51.6	41.0	36.5	41.3	45.0
ファイナンシャルプランナー相談	35.7	26.9	36.3	33.7	35.1	36.3	39.0
子ども家庭総合支援拠点機能の設置	32.1	55.1	49.5	53.0	47.3	52.5	56.0
産後ケアの充実	32.1	62.8	56.0	38.6	41.9	45.0	54.0
(仮称)子ども未来館構想の推進	35.7	39.7	54.9	54.2	47.3	42.5	47.0
富谷公園の遊具の美装化	42.9	33.3	47.3	36.1	27.0	35.0	41.0
未来創生人材育成奨学資金	53.6	61.5	59.3	72.3	58.1	60.0	74.0
企業による奨学金返済支援制度の創設	57.1	41.0	42.9	41.0	55.4	42.5	51.0
企業の人材確保支援の強化	42.9	37.2	34.1	41.0	28.4	28.7	32.0
ワーケーションふくやまの推進	35.7	25.6	31.9	41.0	37.8	32.5	45.0
兼業・副業による人材活用の推進	46.4	42.3	45.1	54.2	58.1	32.5	43.0
無回答	3.6	2.6	1.1	-	1.4	7.5	3.0

地域別で見ると、主に『南部』では「子育てパパ活躍ウィークの充実」「ワーケーションふくやまの推進」「兼業・副業による人材活用の推進」、『松永』では「男性の育児休業取得支援」「子ども家庭総合支援拠点機能の設置」「(仮称)子ども未来館構想の推進」、『北部』では「富谷公園の遊具の美装化」「兼業・副業による人材活用の推進」、『東部』では「子ども家庭総合支援拠点機能の設置」「未来創生人材育成奨学資金」、『神辺』では「産後ケアの充実」「未来創生人材育成奨学資金」の割合が高くなっています。

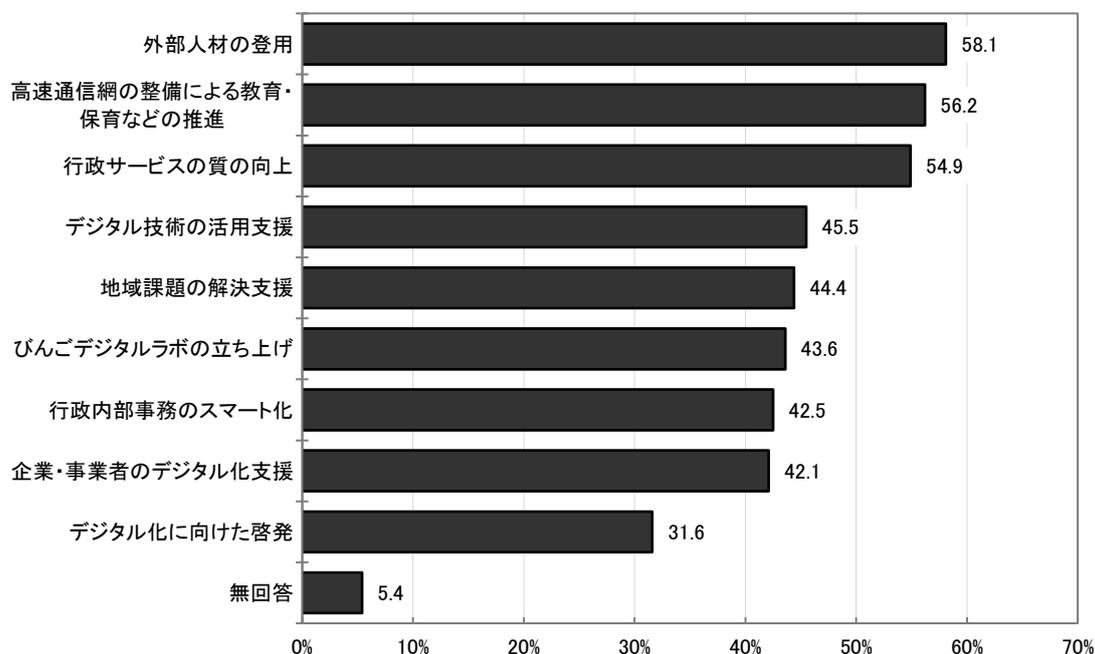
	地域							
	中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	238	35	34	71	75	44	33	4
男性の育児休業取得支援	50.0	54.3	64.7	52.1	57.3	47.7	54.5	25.0
子育てパパ活躍ウィークの充実	31.9	42.9	44.1	29.6	28.0	29.5	24.2	25.0
ネウボラ相談窓口 「あのね」と「えほんの国」の商業施設での再開	46.2	42.9	44.1	32.4	37.3	38.6	39.4	-
ファイナンシャルプランナー相談	36.6	31.4	35.3	29.6	33.3	31.8	42.4	50.0
子ども家庭総合支援拠点機能の設置	52.1	37.1	61.8	45.1	57.3	56.8	45.5	25.0
産後ケアの充実	48.3	48.6	61.8	39.4	40.0	63.6	60.6	75.0
(仮称)子ども未来館構想の推進	50.4	37.1	64.7	29.6	53.3	56.8	30.3	25.0
富谷公園の遊具の美装化	34.9	25.7	38.2	50.7	28.0	50.0	42.4	50.0
未来創生人材育成奨学資金	63.4	57.1	52.9	63.4	70.7	72.7	60.6	75.0
企業による奨学金返済支援制度の創設	43.7	45.7	50.0	49.3	46.7	50.0	54.5	-
企業の人材確保支援の強化	33.2	20.0	41.2	33.8	30.7	36.4	54.5	25.0
ワーケーションふくやまの推進	37.8	42.9	32.4	33.8	40.0	29.5	24.2	25.0
兼業・副業による人材活用の推進	45.0	57.1	47.1	52.1	37.3	52.3	36.4	25.0
無回答	2.5	2.9	-	4.2	4.0	2.3	-	-

職業別で見ると、主に『非正規雇用労働者』では「ネウボラ相談窓口「あのね」と「えほんの国」の商業施設での再開」「(仮称)子ども未来館構想の推進」、『自営業』では「(仮称)子ども未来館構想の推進」「ワーケーションふくやまの推進」、『主夫・主婦』では「ネウボラ相談窓口「あのね」と「えほんの国」の商業施設での再開」「(仮称)子ども未来館構想の推進」「富谷公園の遊具の美装化」、『学生』では「男性の育児休業取得支援」「企業の人材確保支援の強化」の割合が高くなっています。

	職業等					
	正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	183	61	40	98	48	104
男性の育児休業取得支援	49.2	50.8	30.0	56.1	66.7	57.7
子育てパパ活躍ウィークの充実	27.9	13.1	17.5	39.8	47.9	40.4
ネウボラ相談窓口「あのね」と「えほんの国」の商業施設での再開	33.9	50.8	25.0	56.1	27.1	48.1
ファイナンシャルプランナー相談	32.2	42.6	20.0	43.9	31.3	33.7
子ども家庭総合支援拠点機能の設置	49.2	55.7	47.5	56.1	37.5	55.8
産後ケアの充実	48.1	44.3	40.0	49.0	50.0	56.7
(仮称)子ども未来館構想の推進	43.2	57.4	60.0	54.1	37.5	41.3
富谷公園の遊具の美装化	30.1	36.1	35.0	50.0	39.6	39.4
未来創生人材育成奨学資金	62.8	57.4	67.5	68.4	62.5	65.4
企業による奨学金返済支援制度の創設	47.5	36.1	37.5	42.9	52.1	53.8
企業の人材確保支援の強化	30.1	26.2	32.5	33.7	56.3	36.5
ワーケーションふくやまの推進	32.2	34.4	47.5	39.8	35.4	35.6
兼業・副業による人材活用の推進	48.6	44.3	47.5	43.9	50.0	40.4
無回答	1.1	-	-	4.1	4.2	5.8

問4 重点政策の3つの柱を支える基盤となる「デジタル化の推進」のうち、その成果に期待したいと思うもの全てに「○」を記入してください。

「外部人材の登用」が58.1%で最も高くなっています。次いで「高速通信網の整備による教育・保育などの推進」が56.2%、「行政サービスの質の向上」が54.9%が続いています。



性別では、男女ともに大きな差はみられません。

子育て世帯別でみると、『はい(子育て世帯)』では「企業・事業者のデジタル化支援」「高速通信網の整備による教育・保育などの推進」、『いいえ(子育て世帯以外)』では「デジタル技術の活用支援」の割合が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	534	254	277	3	144	348	42
外部人材の登用	58.1	62.6	54.2	33.3	54.9	59.8	54.8
びんごデジタルラボの立ち上げ	43.6	43.7	43.7	33.3	43.1	45.1	33.3
企業・事業者のデジタル化支援	42.1	44.1	39.7	100.0	47.2	40.5	38.1
デジタル化に向けた啓発	31.6	33.9	29.6	33.3	36.1	28.7	40.5
デジタル技術の活用支援	45.5	48.8	42.6	33.3	32.6	50.6	47.6
地域課題の解決支援	44.4	48.4	40.4	66.7	38.2	46.8	45.2
高速通信網の整備による教育・保育などの推進	56.2	56.7	55.6	66.7	68.1	52.6	45.2
行政サービスの質の向上	54.9	53.9	55.2	100.0	56.3	55.7	42.9
行政内部事務のスマート化	42.5	42.9	42.2	33.3	44.4	43.4	28.6
無回答	5.4	5.1	5.8	-	6.9	4.3	9.5

年齢別で見ると、主に『50歳代』から『70歳代』まででは「デジタル技術の活用支援」「地域課題の解決支援」の割合が共通して高くなっています。『10歳代』では「企業・事業者のデジタル化支援」「行政内部事務のスマート化」、『30歳代』では「行政内部事務のスマート化」、『40歳代』では「企業・事業者のデジタル化支援」「高速通信網の整備による教育・保育などの推進」「行政サービスの質の向上」、『50歳代』では「びんごデジタルラボの立ち上げ」、『70歳代』では「外部人材の登用」の割合が高くなっています。

	年齢						
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	28	78	91	83	74	80	100
外部人材の登用	60.7	57.7	54.9	56.6	58.1	53.8	65.0
びんごデジタルラボの立ち上げ	35.7	37.2	39.6	49.4	52.7	42.5	44.0
企業・事業者のデジタル化支援	57.1	46.2	42.9	51.8	39.2	32.5	36.0
デジタル化に向けた啓発	35.7	35.9	30.8	38.6	27.0	22.5	33.0
デジタル技術の活用支援	35.7	24.4	42.9	33.7	54.1	58.8	60.0
地域課題の解決支援	35.7	30.8	41.8	43.4	52.7	50.0	50.0
高速通信網の整備による教育・保育などの推進	57.1	51.3	60.4	63.9	48.6	53.8	57.0
行政サービスの質の向上	46.4	53.8	52.7	62.7	47.3	55.0	59.0
行政内部事務のスマート化	50.0	44.9	49.5	38.6	40.5	37.5	41.0
無回答	-	3.8	7.7	2.4	2.7	6.3	10.0

地域別で見ると、『北部』では「びんごデジタルラボの立ち上げ」「行政サービスの質の向上」の割合が高くなっています。

	地域							
	中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内 <small>(小学校区不明)</small>	市外
回答数	238	35	34	71	75	44	33	4
外部人材の登用	60.5	45.7	61.8	49.3	54.7	61.4	72.7	50.0
びんごデジタルラボの立ち上げ	46.6	37.1	41.2	49.3	37.3	40.9	36.4	50.0
企業・事業者のデジタル化支援	42.4	37.1	35.3	38.0	42.7	45.5	51.5	75.0
デジタル化に向けた啓発	34.9	28.6	29.4	22.5	28.0	36.4	36.4	25.0
デジタル技術の活用支援	45.0	48.6	44.1	47.9	48.0	47.7	36.4	25.0
地域課題の解決支援	45.8	48.6	41.2	40.8	40.0	45.5	45.5	75.0
高速通信網の整備による教育・保育などの推進	57.6	45.7	58.8	60.6	53.3	52.3	54.5	75.0
行政サービスの質の向上	54.2	48.6	47.1	60.6	57.3	59.1	48.5	75.0
行政内部事務のスマート化	44.5	45.7	44.1	31.0	42.7	43.2	48.5	25.0
無回答	2.9	14.3	2.9	4.2	10.7	9.1	3.0	-

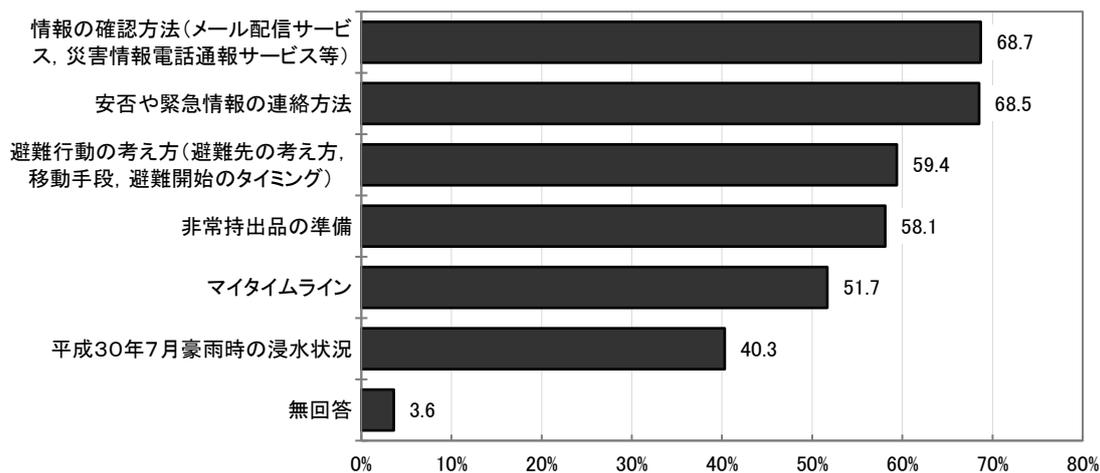
職業別でみると、『非正規雇用労働者』では「びんごデジタルラボの立ち上げ」「地域課題の解決支援」, 『主夫・主婦』では「デジタル技術の活用支援」「高速通信網の整備による教育・保育などの推進」「行政サービスの質の向上」, 『学生』では「企業・事業者のデジタル化支援」「デジタル化に向けた啓発」「行政内部事務のスマート化」の割合が高くなっています。

	職業等					
	正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	183	61	40	98	48	104
外部人材の登用	56.3	54.1	60.0	58.2	58.3	62.5
びんごデジタルラボの立ち上げ	40.4	50.8	47.5	45.9	37.5	44.2
企業・事業者のデジタル化支援	44.3	36.1	30.0	39.8	56.3	42.3
デジタル化に向けた啓発	29.0	21.3	32.5	35.7	39.6	34.6
デジタル技術の活用支援	39.9	44.3	50.0	52.0	37.5	51.9
地域課題の解決支援	40.4	50.8	47.5	45.9	41.7	46.2
高速通信網の整備による教育・保育などの推進	55.2	55.7	40.0	61.2	58.3	58.7
行政サービスの質の向上	54.1	50.8	55.0	63.3	54.2	51.0
行政内部事務のスマート化	45.4	42.6	37.5	41.8	52.1	35.6
無回答	5.5	3.3	5.0	8.2	-	6.7

## 2 防災について

問1(1) 洪水ハザードマップに掲載している情報のうち、【情報面】について、有効に活用できると考えるもの全てに「○」を記入してください。

「情報の確認方法(メール配信サービス, 災害情報電話通報サービス等)」が 68.7%で最も高くなっています。次いで「安否や緊急情報の連絡方法」が 68.5%, 「避難行動の考え方(避難先の考え方, 移動手段, 避難開始のタイミング)」が 59.4%で続いています。



性別でみると、『女性』では「非常持出品の準備」の割合が高くなっています。

子育て世帯別でみると、『はい(子育て世帯)』では「平成30年7月豪雨時の浸水状況」の割合が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	534	254	277	3	144	348	42
マイタイムライン	51.7	51.6	51.6	66.7	52.1	50.9	57.1
情報の確認方法(メール配信サービス, 災害情報電話通報サービス等)	68.7	67.3	70.4	33.3	65.3	70.4	66.7
安否や緊急情報の連絡方法	68.5	64.2	72.2	100.0	69.4	67.0	78.6
避難行動の考え方(避難先の考え方, 移動手段, 避難開始のタイミング)	59.4	58.3	59.9	100.0	62.5	57.5	64.3
非常持出品の準備	58.1	52.0	63.9	33.3	59.0	58.3	52.4
平成30年7月豪雨時の浸水状況	40.3	40.2	40.1	66.7	47.9	37.1	40.5
無回答	3.6	4.3	2.9	-	3.5	3.4	4.8

年齢別でみると、『20歳代』では「非常持出品の準備」、『30歳代』では「マイタイムライン」「平成30年7月豪雨時の浸水状況」、『70歳以上』では「マイタイムライン」「情報の確認方法(メール配信サービス, 災害情報電話通報サービス等)」「安否や緊急情報の連絡方法」「避難行動の考え方(避難先の考え方, 移動手段, 避難開始のタイミング)」「非常持出品の準備」の割合が高くなっています。

	年齢						
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	28	78	91	83	74	80	100
マイタイムライン	39.3	42.3	63.7	53.0	47.3	42.5	61.0
情報の確認方法(メール配信サービス, 災害情報電話通報サービス等)	57.1	65.4	69.2	69.9	67.6	66.3	76.0
安否や緊急情報の連絡方法	67.9	67.9	67.0	71.1	68.9	61.3	74.0
避難行動の考え方(避難先の考え方, 移動手段, 避難開始のタイミング)	64.3	47.4	63.7	56.6	56.8	60.0	67.0
非常持出品の準備	53.6	66.7	60.4	56.6	44.6	52.5	66.0
平成30年7月豪雨時の浸水状況	32.1	37.2	49.5	41.0	36.5	32.5	45.0
無回答	3.6	2.6	3.3	1.2	2.7	7.5	4.0

地域別でみると、『南部』では「マイタイムライン」「避難行動の考え方(避難先の考え方, 移動手段, 避難開始のタイミング)」, 『松永』では「情報の確認方法(メール配信サービス, 災害情報電話通報サービス等)」「安否確認や緊急情報の連絡方法」, 『北部』では「情報の確認方法(メール配信サービス, 災害情報電話通報サービス等)」, 『神辺』では「情報の確認方法(メール配信サービス, 災害情報電話通報サービス等)」「避難行動の考え方(避難先の考え方, 移動手段, 避難開始のタイミング)」「非常持出品の準備」「平成30年7月豪雨時の浸水状況」の割合が高くなっています。

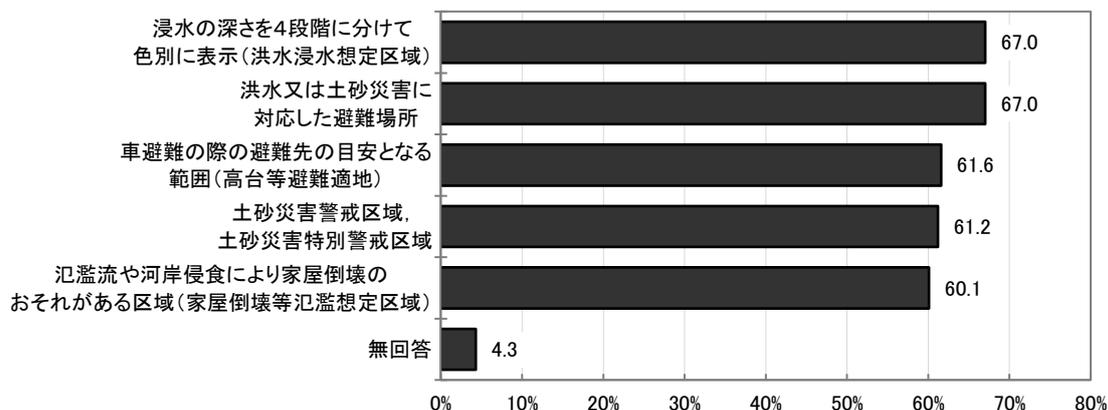
	地域							
	中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	238	35	34	71	75	44	33	4
マイタイムライン	51.3	57.1	47.1	49.3	53.3	54.5	54.5	25.0
情報の確認方法(メール配信サービス, 災害情報電話通報サービス等)	64.7	54.3	85.3	77.5	68.0	79.5	72.7	-
安否や緊急情報の連絡方法	66.8	65.7	73.5	66.2	73.3	72.7	63.6	100.0
避難行動の考え方(避難先の考え方, 移動手段, 避難開始のタイミング)	58.0	71.4	50.0	54.9	64.0	75.0	48.5	25.0
非常持出品の準備	60.5	62.9	50.0	46.5	62.7	63.6	48.5	75.0
平成30年7月豪雨時の浸水状況	42.0	34.3	29.4	40.8	36.0	47.7	42.4	50.0
無回答	4.2	14.3	-	2.8	1.3	-	3.0	-

職業別でみると、『主夫・主婦』では「マイタイムライン」「安否や緊急情報の連絡方法」「避難行動の考え方（避難先の考え方，移動手段，避難開始のタイミング）」「非常持出品の準備」，『学生』では「安否や緊急情報の連絡方法」「避難行動の考え方（避難先の考え方，移動手段，避難開始のタイミング）」「非常持出品の準備」の割合が高くなっています。

	職業等					
	正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	183	61	40	98	48	104
マイタイムライン	51.4	49.2	52.5	57.1	41.7	52.9
情報の確認方法（メール配信サービス，災害情報電話通報サービス等）	66.7	72.1	65.0	73.5	64.6	69.2
安否や緊急情報の連絡方法	63.4	68.9	57.5	75.5	77.1	71.2
避難行動の考え方（避難先の考え方，移動手段，避難開始のタイミング）	49.2	59.0	57.5	65.3	66.7	69.2
非常持出品の準備	49.2	59.0	50.0	70.4	66.7	60.6
平成30年7月豪雨時の浸水状況	38.8	44.3	37.5	44.9	31.3	41.3
無回答	2.7	1.6	2.5	4.1	2.1	6.7

問1(2) 洪水ハザードマップに掲載している情報のうち、【地図面】について、有効に活用できると考えるもの全てに「○」を記入してください。

「浸水の深さを4段階に分けて色別に表示(洪水浸水想定区域)」と「洪水又は土砂災害に対応した避難場所」がともに67.0%で最も高くなっています。次いで「車避難の際の避難先の目安となる範囲(高台等避難適地)」が61.6%、「土砂災害警戒区域, 土砂災害特別警戒区域」が61.2%が続いています。選択肢全てが6割以上と高くなっています。



性別でみると、『女性』では「土砂災害計画区域, 土砂災害特別警戒区域」の割合が高くなっています。

子育て世帯別でみると、『はい(子育て世帯)』では「浸水の深さを4段階に分けて色別に表示(洪水浸水想定区域)」「車避難の際の避難先の目安となる範囲(高台等避難適地)」「土砂災害警戒区域, 土砂災害特別警戒区域」の割合が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	534	254	277	3	144	348	42
浸水の深さを4段階に分けて色別に表示(洪水浸水想定区域)	67.0	64.2	69.7	66.7	73.6	65.2	59.5
氾濫流や河岸侵食により家屋倒壊のおそれがある区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)	60.1	59.8	59.9	100.0	62.5	58.9	61.9
車避難の際の避難先の目安となる範囲(高台等避難適地)	61.6	62.6	61.0	33.3	66.7	59.2	64.3
土砂災害警戒区域, 土砂災害特別警戒区域	61.2	55.1	67.1	33.3	66.7	57.8	71.4
洪水又は土砂災害に対応した避難場所	67.0	62.2	71.1	100.0	69.4	65.5	71.4
無回答	4.3	5.9	2.9	-	2.8	4.9	4.8

年齢別でみると、『10歳代』では「土砂災害警戒区域，土砂災害特別警戒区域」、『20歳代』では「浸水の深さを4段階に分けて色別に表示(洪水浸水想定区域)」、『30歳代』では「浸水の深さを4段階に分けて色別に表示(洪水浸水想定区域)」『氾濫流や河岸浸食により家屋倒壊のおそれがある区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)」「車避難の際の避難先の目安となる範囲(高台等避難適地)」、『40歳代』では「車避難の際の避難先の目安となる範囲(高台等避難適地)」『土砂災害警戒区域，土砂災害特別警戒区域」、『50歳代』では「車避難の際の避難先の目安となる範囲(高台等避難適地)」、『70歳以上』では「洪水又は土砂災害に対応した避難場所」の割合が高くなっています。

	年齢						
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	28	78	91	83	74	80	100
浸水の深さを4段階に分けて色別に表示 (洪水浸水想定区域)	57.1	73.1	83.5	69.9	68.9	55.0	56.0
氾濫流や河岸侵食により家屋倒壊の おそれがある区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)	57.1	57.7	65.9	62.7	62.2	61.3	53.0
車避難の際の避難先の目安となる範囲 (高台等避難適地)	57.1	50.0	70.3	67.5	68.9	55.0	59.0
土砂災害警戒区域，土砂災害特別警戒区域	82.1	61.5	64.8	67.5	51.4	52.5	61.0
洪水又は土砂災害に対応した避難場所	64.3	60.3	71.4	69.9	64.9	58.8	75.0
無回答	3.6	2.6	2.2	1.2	2.7	7.5	9.0

地域別でみると、『松永』では「氾濫流や河岸侵食により家屋倒壊のおそれがある区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)」、『東部』では「洪水又は土砂災害に対応した避難場所」、『神辺』では「浸水の深さを4段階に分けて色別に表示(洪水浸水想定区域)」『土砂災害警戒区域，土砂災害特別警戒区域』『洪水又は土砂災害に対応した避難場所』の割合が高くなっています。

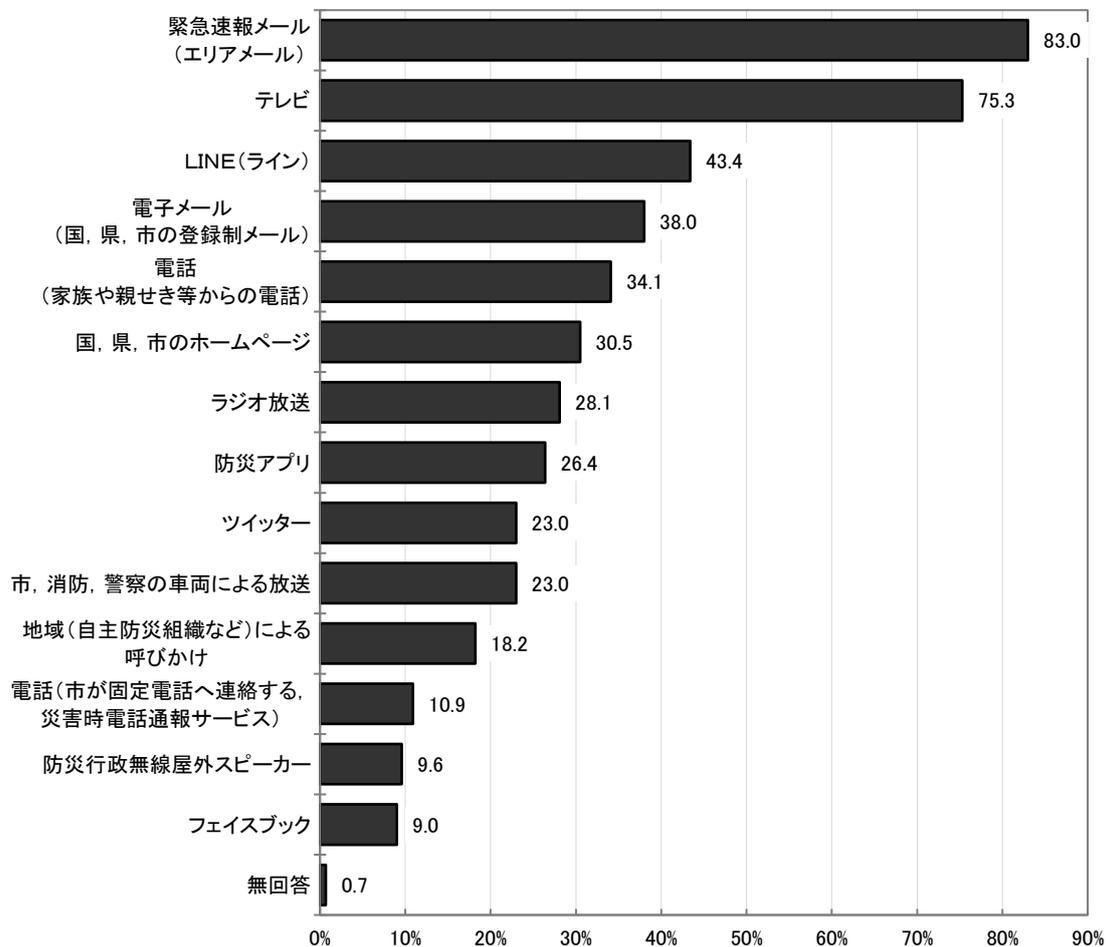
	地域							
	中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学 校区不明)	市外
回答数	238	35	34	71	75	44	33	4
浸水の深さを4段階に分けて色別に表示 (洪水浸水想定区域)	67.6	62.9	70.6	62.0	68.0	75.0	63.6	50.0
氾濫流や河岸侵食により家屋倒壊の おそれがある区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)	56.7	62.9	76.5	56.3	62.7	63.6	63.6	50.0
車避難の際の避難先の目安となる範囲 (高台等避難適地)	60.5	65.7	61.8	63.4	60.0	61.4	72.7	-
土砂災害警戒区域，土砂災害特別警戒区域	56.7	60.0	58.8	63.4	65.3	68.2	69.7	100.0
洪水又は土砂災害に対応した避難場所	68.1	68.6	58.8	57.7	72.0	77.3	60.6	75.0
無回答	4.2	11.4	2.9	4.2	2.7	4.5	3.0	-

職業別で見ると、『非正規雇用労働者』では「浸水の深さを4段階に分けて色別に表示(洪水浸水想定区域)」「車避難の際の避難先の目安となる範囲(高台等避難適地)」「土砂災害警戒区域, 土砂災害特別警戒区域」「洪水又は土砂災害に対応した避難場所」, 『主夫・主婦』では「土砂災害警戒区域, 土砂災害特別警戒区域」「洪水又は土砂災害に対応した避難場所」, 『学生』では「土砂災害警戒区域, 土砂災害特別警戒区域」の割合が高くなっています。

	職業等					
	正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	183	61	40	98	48	104
浸水の深さを4段階に分けて色別に表示 (洪水浸水想定区域)	71.6	73.8	62.5	65.3	66.7	58.7
氾濫流や河岸侵食により家屋倒壊のおそれがある区域(家屋倒壊等氾濫想定区域)	59.0	63.9	65.0	54.1	62.5	62.5
車避難の際の避難先の目安となる範囲 (高台等避難適地)	63.4	68.9	62.5	57.1	56.3	60.6
土砂災害警戒区域, 土砂災害特別警戒区域	54.6	67.2	50.0	68.4	79.2	58.7
洪水又は土砂災害に対応した避難場所	61.7	77.0	55.0	73.5	70.8	67.3
無回答	3.3	1.6	-	6.1	2.1	8.7

問2 (1) あなたが防災情報を入力するときに活用しているもの全てに「○」を記入してください。

「緊急速報メール(エリアメール)」が 83.0%、「テレビ」が 75.3%で群を抜いて高くなっています。次いで「LINE(ライン)」が 43.4%、「電子メール(国, 県, 市の登録制メール)」が 38.0%で続いています。



性別で見ると、『男性』では「ラジオ放送」、『女性』では「ツイッター」の割合が高くなっています。

子育て世帯別で見ると、『はい(子育て世帯)』では「緊急速報メール(エリアメール)」「電子メール(国, 県, 市の登録制メール)」「フェイスブック」「LINE(ライン)」の割合が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	534	254	277	3	144	348	42
緊急速報メール(エリアメール)	83.0	79.1	87.0	33.3	88.9	81.0	78.6
電子メール(国, 県, 市の登録制メール)	38.0	37.4	39.0	-	48.6	35.1	26.2
防災アプリ	26.4	27.6	25.6	-	27.1	27.6	14.3
電話(家族や親せき等からの電話)	34.1	32.7	35.4	33.3	29.2	37.4	23.8
電話(市が固定電話へ連絡する, 災害時電話通報サービス)	10.9	14.2	7.9	-	4.9	13.5	9.5
国, 県, 市のホームページ	30.5	30.3	31.0	-	32.6	31.6	14.3
ツイッター	23.0	16.9	28.5	33.3	26.4	21.8	21.4
フェイスブック	9.0	7.9	10.1	-	15.3	7.5	-
LINE(ライン)	43.4	40.9	45.8	33.3	52.1	42.0	26.2
テレビ	75.3	72.8	77.3	100.0	69.4	77.0	81.0
ラジオ放送	28.1	37.4	19.1	66.7	20.8	31.6	23.8
市, 消防, 警察の車両による放送	23.0	26.8	19.9	-	15.3	26.4	21.4
防災行政無線屋外スピーカー	9.6	11.0	7.9	33.3	6.9	10.3	11.9
地域(自主防災組織など)による呼びかけ	18.2	20.1	16.2	33.3	9.7	21.3	21.4
無回答	0.7	0.8	0.7	-	1.4	0.3	2.4

年齢別でみると、『10 歳代』では「防災アプリ」「ツイッター」、『20 歳代』では「ツイッター」「LINE(ライン)」、『40 歳代』では「緊急速報メール(エリアメール)」「電子メール(国, 県, 市の登録制メール)」「防災アプリ」「国, 県, 市のホームページ」、『50 歳代』では「防災アプリ」、『60 歳代』では「テレビ」「ラジオ放送」「地域(自主防災組織など)による呼びかけ」、『70 歳以上』では「電話(家族や親せき等からの電話)」「電話(市が固定電話へ連絡する, 災害時電話通報サービス)」「テレビ」「ラジオ放送」「市, 消防, 警察の車両による放送」「防災行政無線屋外スピーカー」「地域(自主防災組織など)による呼びかけ」の割合が高くなっています。

	年齢						
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	28	78	91	83	74	80	100
緊急速報メール(エリアメール)	78.6	79.5	85.7	89.2	86.5	87.5	73.0
電子メール(国, 県, 市の登録制メール)	28.6	28.2	36.3	53.0	40.5	40.0	34.0
防災アプリ	35.7	25.6	15.4	32.5	33.8	28.7	22.0
電話(家族や親せき等からの電話)	17.9	34.6	34.1	24.1	27.0	31.3	54.0
電話(市が固定電話へ連絡する, 災害時電話通報サービス)	3.6	7.7	4.4	2.4	5.4	12.5	31.0
国, 県, 市のホームページ	21.4	30.8	35.2	36.1	35.1	28.7	22.0
ツイッター	53.6	59.0	24.2	22.9	14.9	6.3	5.0
フェイスブック	3.6	10.3	11.0	13.3	13.5	3.8	5.0
LINE(ライン)	42.9	51.3	47.3	48.2	43.2	35.0	37.0
テレビ	75.0	59.0	74.7	72.3	74.3	81.3	87.0
ラジオ放送	3.6	19.2	25.3	22.9	23.0	33.8	48.0
市, 消防, 警察の車両による放送	10.7	14.1	19.8	13.3	23.0	22.5	45.0
防災行政無線屋外スピーカー	3.6	5.1	7.7	4.8	13.5	10.0	17.0
地域(自主防災組織など)による呼びかけ	3.6	11.5	14.3	8.4	10.8	25.0	39.0
無回答	-	1.3	1.1	-	-	-	2.0

地域別でみると、『南部』では「ツイッター」「ラジオ放送」「防災行政無線屋外スピーカー」「地域(自主防災組織など)による呼びかけ」,『松永』では「ツイッター」「市,消防,警察の車両による放送」「防災行政無線屋外スピーカー」「地域(自主防災組織など)による呼びかけ」,『北部』では「地域(自主防災組織など)による呼びかけ」,『東部』では「緊急速報メール(エリアメール)」「電子メール(国,県,市の登録制メール)」「電話(家族や親せき等からの電話)」「LINE(ライン)」,『神辺』では「防災アプリ」「電話(家族や親せき等からの電話)」「市,消防,警察の車両による放送」「地域(自主防災組織など)による呼びかけ」の割合が高くなっています。

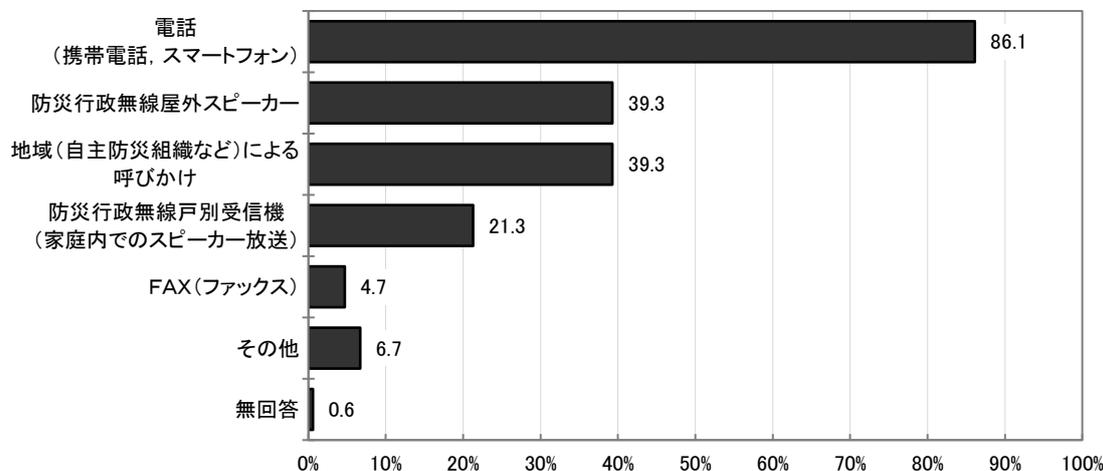
	地域							
	中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	238	35	34	71	75	44	33	4
緊急速報メール(エリアメール)	83.2	71.4	82.4	81.7	90.7	79.5	87.9	50.0
電子メール(国,県,市の登録制メール)	41.2	28.6	26.5	36.6	45.3	38.6	21.2	50.0
防災アプリ	29.0	25.7	17.6	19.7	22.7	38.6	21.2	50.0
電話(家族や親せき等からの電話)	31.9	31.4	29.4	32.4	42.7	43.2	33.3	-
電話(市が固定電話へ連絡する,災害時電話通報サービス)	9.7	14.3	14.7	11.3	10.7	13.6	9.1	-
国,県,市のホームページ	32.4	22.9	32.4	29.6	33.3	20.5	33.3	25.0
ツイッター	23.5	28.6	29.4	23.9	18.7	11.4	27.3	50.0
フェイスブック	11.8	5.7	5.9	12.7	4.0	6.8	3.0	-
LINE(ライン)	44.1	40.0	38.2	42.3	52.0	38.6	39.4	25.0
テレビ	72.7	77.1	79.4	77.5	77.3	79.5	72.7	75.0
ラジオ放送	29.8	34.3	29.4	26.8	29.3	22.7	18.2	-
市,消防,警察の車両による放送	21.4	25.7	29.4	25.4	18.7	29.5	24.2	-
防災行政無線屋外スピーカー	7.1	22.9	14.7	8.5	6.7	11.4	15.2	-
地域(自主防災組織など)による呼びかけ	12.6	34.3	23.5	23.9	17.3	25.0	18.2	-
無回答	0.8	2.9	-	-	-	2.3	-	-

職業別でみると、『正規雇用労働者』では「緊急速報メール(エリアメール)」,『非正規雇用労働者』では「緊急速報メール(エリアメール)」 「電子メール(国, 県, 市の登録制メール)」 「国, 県, 市のホームページ」, 『自営業』では「防災アプリ」「フェイスブック」「LINE(ライン)」 「市, 消防, 警察の車両による放送」「防災行政無線屋外スピーカー」, 『主夫・主婦』では「電話(家族や親せき等からの電話)」 「電話(市が固定電話へ連絡する, 災害時電話通報サービス)」 「市, 消防, 警察の車両による放送」「地域(自主防災組織など)による呼びかけ」, 『学生』では「防災アプリ」「ツイッター」の割合が高くなっています。

	職業等					
	正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	183	61	40	98	48	104
緊急速報メール(エリアメール)	88.0	88.5	80.0	83.7	77.1	74.0
電子メール(国, 県, 市の登録制メール)	38.3	52.5	37.5	42.9	25.0	30.8
防災アプリ	25.1	21.3	35.0	27.6	33.3	24.0
電話(家族や親せき等からの電話)	31.1	29.5	22.5	45.9	25.0	39.4
電話(市が固定電話へ連絡する, 災害時電話通報サービス)	6.0	4.9	10.0	17.3	6.3	19.2
国, 県, 市のホームページ	30.6	37.7	30.0	25.5	31.3	30.8
ツイッター	25.1	27.9	15.0	15.3	66.7	6.7
フェイスブック	9.8	13.1	20.0	10.2	4.2	1.9
LINE(ライン)	47.0	45.9	55.0	44.9	41.7	30.8
テレビ	67.2	73.8	80.0	79.6	75.0	84.6
ラジオ放送	26.2	19.7	32.5	25.5	10.4	45.2
市, 消防, 警察の車両による放送	17.5	11.5	32.5	30.6	10.4	34.6
防災行政無線屋外スピーカー	8.2	1.6	22.5	12.2	2.1	12.5
地域(自主防災組織など)による呼びかけ	13.1	16.4	17.5	24.5	4.2	28.8
無回答	-	1.6	-	2.0	-	1.0

問2（2） あなたが防災情報を入力するときであれば有効だと考えるもの全てに「○」を記入してください。

「電話(携帯電話, スマートフォン)」が 86.1%で突出しています。次いで「防災行政無線屋外スピーカー」と「地域(自主防災組織など)による呼びかけ」がともに 39.3%で続いています。



【その他回答】

内 容	類似回答数
テレビ	7
ラジオ	4
LINE (ライン)	3
ドローン	2
NHK を主としてテレビの情報が、かなり正確になっている、福山市としての何が必要かである 他多数	1

【その他回答（抜粋）】

(34 件, 6.4%)

内 容	年代	地域
テレビ番組データ α 詳細情報	60 歳代	東部
隣・近隣による呼びかけ	60 歳代	東部
フェイスブックで自分は無事と発信できるシステムがある	50 歳代	東部
スマホや電話はお年寄りや病人、子どもは持っていないと考えての対策を考えてほしい。消防署のサイレン、パトカーのサイレンを一齐に大きく鳴らして、緊急であることを市民に知らせる。いち早く。前もってどういう非常時の場合か決めておく。一回訓練を防災の日に(エリアも)	70 歳代	中部
SMS	20 歳代	南部
住民票等に登録している電話番号にメール	30 歳代	東部
行政が車に乗って直接スピーカーです放送して歩く事	50 歳代	中部
世帯一台緊急連絡受信器を設置又は配布	60 歳代	中部
掲示板	40 歳代	東部
防犯カメラ	50 歳代	神辺

性別による大きな差はみられません。

子育て世帯別でみると、『はい(子育て世帯)』では「地域(自主防災組織など)による呼びかけ」の割合が低くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	534	254	277	3	144	348	42
電話(携帯電話, スマートフォン)	86.1	86.2	85.9	100.0	87.5	86.2	81.0
防災行政無線屋外スピーカー	39.3	35.4	42.6	66.7	40.3	37.9	47.6
防災行政無線戸別受信機 (家庭内でのスピーカー放送)	21.3	25.6	17.7	-	18.1	21.6	31.0
FAX(ファックス)	4.7	5.9	3.6	-	2.1	6.0	2.4
地域(自主防災組織など)による呼びかけ	39.3	38.6	40.1	33.3	29.2	42.5	47.6
その他	6.7	6.7	6.9	-	9.7	6.0	2.4
無回答	0.6	0.4	0.7	-	-	0.6	2.4

年齢でみると、『10歳代』では「FAX(ファックス)」, 『70歳以上』では「防災行政無線戸別受信機(家庭内でのスピーカー放送)」「FAX(ファックス)」「地域(自主防災組織など)による呼びかけ」の割合が高くなっています。

	年齢						
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	28	78	91	83	74	80	100
電話(携帯電話, スマートフォン)	82.1	83.3	87.9	89.2	83.8	83.8	89.0
防災行政無線屋外スピーカー	42.9	37.2	44.0	34.9	39.2	37.5	41.0
防災行政無線戸別受信機 (家庭内でのスピーカー放送)	25.0	15.4	16.5	15.7	18.9	25.0	33.0
FAX(ファックス)	14.3	2.6	-	2.4	4.1	2.5	12.0
地域(自主防災組織など)による呼びかけ	39.3	37.2	30.8	31.3	27.0	37.5	66.0
その他	3.6	3.8	11.0	8.4	5.4	6.3	6.0
無回答	-	-	-	-	-	1.3	2.0

地域別でみると、『南部』では「防災行政無線屋外スピーカー」、『松永』では「電話(携帯電話, スマートフォン)」、『北部』では「地域(自主防災組織など)による呼びかけ」、『東部』では「電話(携帯電話, スマートフォン)」、『神辺』では「電話(携帯電話, スマートフォン)」「防災行政無線屋外スピーカー」「地域(自主防災組織など)による呼びかけ」の割合が高くなっています。

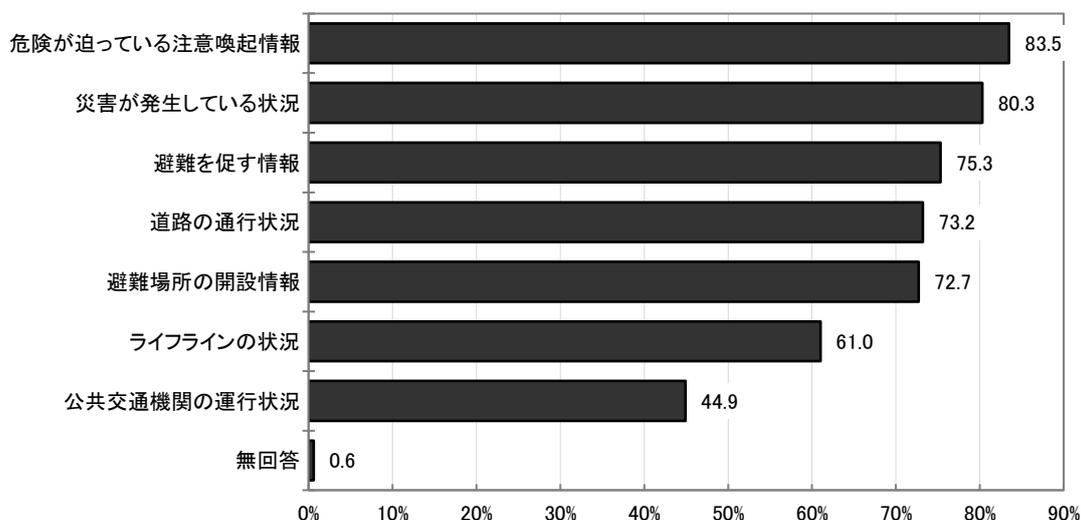
	地域							
	中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	238	35	34	71	75	44	33	4
電話(携帯電話, スマートフォン)	86.1	77.1	91.2	76.1	93.3	93.2	87.9	75.0
防災行政無線屋外スピーカー	36.6	48.6	32.4	35.2	40.0	52.3	48.5	25.0
防災行政無線戸別受信機 (家庭内でのスピーカー放送)	23.5	22.9	14.7	22.5	14.7	22.7	24.2	-
FAX(ファックス)	4.6	2.9	8.8	2.8	4.0	6.8	6.1	-
地域(自主防災組織など)による呼びかけ	37.4	37.1	44.1	47.9	34.7	52.3	27.3	25.0
その他	5.9	8.6	5.9	5.6	16.0	2.3	-	-
無回答	1.3	-	-	-	-	-	-	-

職業別でみると、『自営業』では「電話(携帯電話, スマートフォン)」「防災行政無線戸別受信機(家庭内でのスピーカー放送)」、『主夫・主婦』では「地域(自主防災組織など)による呼びかけ」、『学生』では「FAX(ファックス)」の割合が高くなっています。

	職業等					
	正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	183	61	40	98	48	104
電話(携帯電話, スマートフォン)	84.7	83.6	92.5	89.8	83.3	85.6
防災行政無線屋外スピーカー	38.8	36.1	27.5	39.8	43.8	44.2
防災行政無線戸別受信機 (家庭内でのスピーカー放送)	15.8	18.0	35.0	22.4	16.7	28.8
FAX(ファックス)	2.7	-	2.5	8.2	10.4	5.8
地域(自主防災組織など)による呼びかけ	29.0	31.1	35.0	52.0	43.8	50.0
その他	5.5	9.8	12.5	6.1	4.2	6.7
無回答	-	-	-	2.0	-	1.0

問2（3） あなたが必要としている防災情報全てに「○」を記入してください。

「危険が迫っている注意喚起情報」が 83.5%で最も高くなっています。次いで「災害が発生している状況」が 80.3%、「避難を促す情報」が 75.3%が続いています。



性別でみると、『女性』では「公共交通機関の運行状況」「ライフラインの状況」「災害が発生している状況」の割合が高くなっています。

子育て世帯別でみると、『はい(子育て世帯)』では「避難を促す情報」「避難場所の開設情報」「道路の通行状況」「公共交通機関の運行状況」「ライフラインの状況」の割合が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	534	254	277	3	144	348	42
危険が迫っている注意喚起情報	83.5	81.5	85.9	33.3	85.4	82.5	85.7
避難を促す情報	75.3	70.1	79.8	100.0	83.3	72.7	69.0
避難場所の開設情報	72.7	69.3	75.8	66.7	81.9	68.4	76.2
道路の通行状況	73.2	68.9	76.9	100.0	80.6	70.7	69.0
公共交通機関の運行状況	44.9	37.8	51.3	66.7	50.0	43.1	42.9
ライフラインの状況	61.0	53.9	67.9	33.3	66.0	59.2	59.5
災害が発生している状況	80.3	72.4	87.7	66.7	84.7	79.6	71.4
無回答	0.6	0.4	0.7	-	-	0.9	-

年齢別でみると、『10 歳代』『20 歳代』では「公共交通機関の運行状況」、『30 歳代』では「避難場所の開設情報」「道路の通行状況」「ライフラインの状況」、『40 歳代』では「避難場所の開設情報」「道路の通行状況」「ライフラインの状況」「災害が発生している状況」の割合が高くなっています。

	年齢						
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	28	78	91	83	74	80	100
危険が迫っている注意喚起情報	67.9	84.6	85.7	88.0	79.7	82.5	85.0
避難を促す情報	67.9	74.4	80.2	78.3	75.7	73.8	72.0
避難場所の開設情報	64.3	65.4	79.1	78.3	68.9	70.0	75.0
道路の通行状況	57.1	73.1	79.1	80.7	73.0	75.0	65.0
公共交通機関の運行状況	60.7	50.0	46.2	47.0	44.6	47.5	32.0
ライフラインの状況	53.6	61.5	72.5	67.5	60.8	60.0	48.0
災害が発生している状況	67.9	83.3	78.0	88.0	75.7	85.0	77.0
無回答	-	-	1.1	-	-	1.3	1.0

地域別でみると、『南部』では「公共交通機関の運行状況」「ライフラインの状況」、『松永』では「危険が迫っている注意喚起情報」「道路の通行状況」「公共交通機関の運行状況」、『東部』では「危険が迫っている注意喚起情報」、『神辺』では「危険が迫っている注意喚起情報」「避難を促す情報」「避難場所の開設情報」「道路の通行状況」「公共交通機関の運行状況」「災害が発生している状況」の割合が高くなっています。

	地域							
	中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	238	35	34	71	75	44	33	4
危険が迫っている注意喚起情報	81.5	77.1	91.2	77.5	92.0	88.6	84.8	75.0
避難を促す情報	73.1	68.6	76.5	69.0	80.0	90.9	78.8	75.0
避難場所の開設情報	68.9	77.1	73.5	69.0	73.3	84.1	81.8	100.0
道路の通行状況	70.2	74.3	88.2	66.2	74.7	84.1	78.8	50.0
公共交通機関の運行状況	43.3	51.4	50.0	40.8	45.3	54.5	42.4	25.0
ライフラインの状況	60.9	80.0	55.9	43.7	64.0	63.6	72.7	75.0
災害が発生している状況	80.3	68.6	79.4	78.9	77.3	95.5	84.8	75.0
無回答	0.4	-	-	1.4	1.3	-	-	-

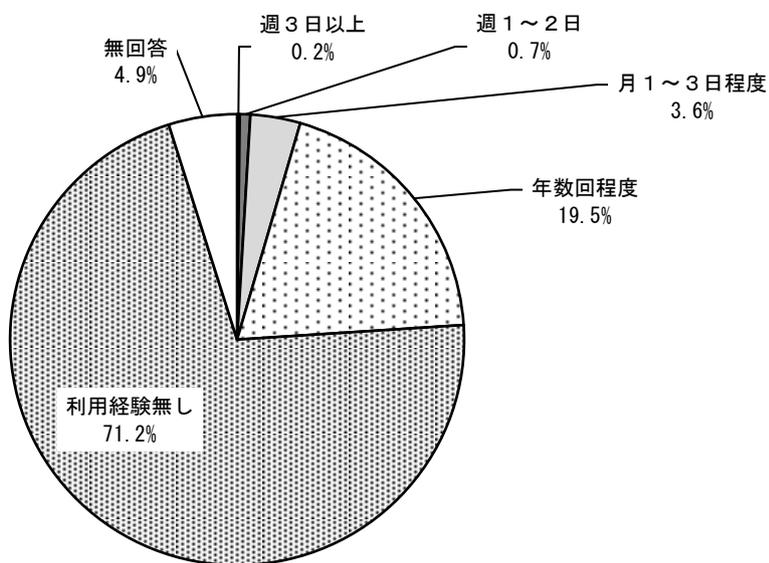
職業別でみると、『非正規雇用労働者』では「避難を促す情報」「道路の通行状況」「公共交通機関の運行状況」「ライフラインの状況」「災害が発生している状況」,『自営業』では「避難場所の開設情報」「ライフラインの状況」,『主夫・主婦』では「避難を促す情報」「避難場所の開設情報」,『学生』では「公共交通機関の運行状況」の割合が高くなっています。

	職業等					
	正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	183	61	40	98	48	104
危険が迫っている注意喚起情報	83.6	83.6	77.5	85.7	75.0	87.5
避難を促す情報	75.4	80.3	67.5	80.6	75.0	70.2
避難場所の開設情報	65.6	77.0	80.0	80.6	68.8	74.0
道路の通行状況	74.9	83.6	70.0	74.5	62.5	69.2
公共交通機関の運行状況	40.4	55.7	47.5	40.8	58.3	43.3
ライフラインの状況	61.2	67.2	70.0	62.2	58.3	53.8
災害が発生している状況	79.8	86.9	77.5	83.7	77.1	76.9
無回答	0.5	-	-	1.0	-	1.0

### 3 「(仮称) まちづくり支援拠点施設」の整備について

問1 各施設をどの程度の頻度で利用しているか、施設ごとに当てはまるものに「○」を記入してください。(過去に利用していたが現在は利用していない場合は、利用していた際の利用頻度等でお答えください。)

【市民参画センター】



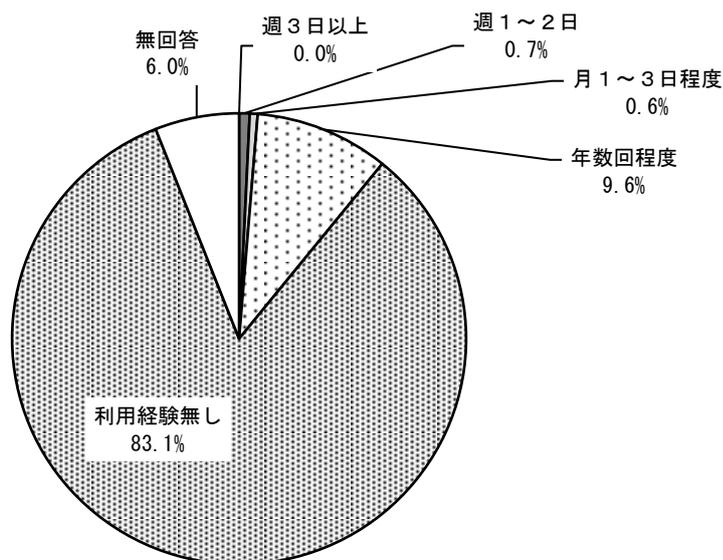
	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	534	254	277	3	144	348	42
週3日以上	0.2	0.4	-	-	-	0.3	-
週1～2日	0.7	0.4	0.7	33.3	0.7	0.6	2.4
月1～3日程度	3.6	4.3	2.9	-	2.1	4.6	-
年数回程度	19.5	21.3	18.1	-	20.8	19.0	19.0
利用経験無し	71.2	67.7	74.4	66.7	74.3	70.1	69.0
無回答	4.9	5.9	4.0	-	2.1	5.5	9.5

	年齢						
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	28	78	91	83	74	80	100
週3日以上	-	-	-	-	-	-	1.0
週1～2日	-	-	1.1	-	-	1.3	2.0
月1～3日程度	-	2.6	1.1	1.2	1.4	7.5	8.0
年数回程度	7.1	7.7	9.9	25.3	28.4	15.0	33.0
利用経験無し	89.3	87.2	84.6	72.3	66.2	68.8	46.0
無回答	3.6	2.6	3.3	1.2	4.1	7.5	10.0

	地域							
	中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	238	35	34	71	75	44	33	4
週3日以上	-	-	2.9	-	-	-	-	-
週1～2日	0.4	-	-	-	2.7	2.3	-	-
月1～3日程度	4.2	2.9	-	5.6	4.0	2.3	-	-
年数回程度	20.2	22.9	17.6	23.9	24.0	11.4	6.1	-
利用経験無し	71.8	74.3	76.5	59.2	61.3	79.5	90.9	100.0
無回答	3.4	-	2.9	11.3	8.0	4.5	3.0	-

	職業等					
	正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	183	61	40	98	48	104
週3日以上	-	-	-	1.0	-	-
週1～2日	0.5	-	-	2.0	-	1.0
月1～3日程度	1.1	1.6	2.5	7.1	-	7.7
年数回程度	15.8	19.7	47.5	22.4	6.3	18.3
利用経験無し	79.2	73.8	50.0	63.3	91.7	61.5
無回答	3.3	4.9	-	4.1	2.1	11.5

【男女共同参画センター・青少年センター】



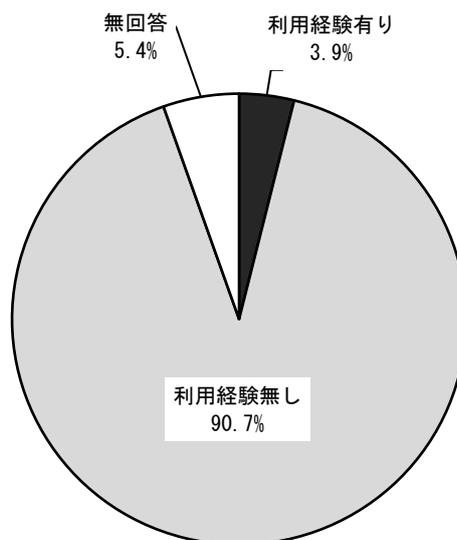
	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	534	254	277	3	144	348	42
週3日以上	-	-	-	-	-	-	-
週1～2日	0.7	0.4	1.1	-	0.7	0.3	4.8
月1～3日程度	0.6	0.8	0.4	-	0.7	0.6	-
年数回程度	9.6	10.2	9.0	-	9.0	10.3	4.8
利用経験無し	83.1	82.3	83.8	100.0	87.5	81.9	78.6
無回答	6.0	6.3	5.8	-	2.1	6.9	11.9

	年齢						
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	28	78	91	83	74	80	100
週3日以上	-	-	-	-	-	-	-
週1～2日	-	1.3	1.1	1.2	1.4	-	-
月1～3日程度	-	-	1.1	-	1.4	1.3	-
年数回程度	3.6	3.8	8.8	9.6	9.5	6.3	19.0
利用経験無し	92.9	92.3	85.7	88.0	83.8	82.5	67.0
無回答	3.6	2.6	3.3	1.2	4.1	10.0	14.0

	地域							
	中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	238	35	34	71	75	44	33	4
週3日以上	-	-	-	-	-	-	-	-
週1～2日	0.8	-	-	-	-	2.3	3.0	-
月1～3日程度	0.4	-	-	2.8	-	-	-	-
年数回程度	8.0	11.4	11.8	14.1	13.3	6.8	3.0	-
利用経験無し	87.0	85.7	79.4	71.8	76.0	86.4	90.9	100.0
無回答	3.8	2.9	8.8	11.3	10.7	4.5	3.0	-

	職業等					
	正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	183	61	40	98	48	104
週3日以上	-	-	-	-	-	-
週1～2日	1.6	-	-	-	2.1	-
月1～3日程度	1.1	1.6	-	-	-	-
年数回程度	7.7	11.5	12.5	13.3	4.2	9.6
利用経験無し	86.3	83.6	85.0	79.6	91.7	76.0
無回答	3.3	3.3	2.5	7.1	2.1	14.4

【老人大学】



	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	534	254	277	3	144	348	42
利用経験有り	3.9	5.1	2.9	-	-	5.2	7.1
利用経験無し	90.6	89.0	92.1	100.0	96.5	89.1	83.3
無回答	5.4	5.9	5.1	-	3.5	5.7	9.5

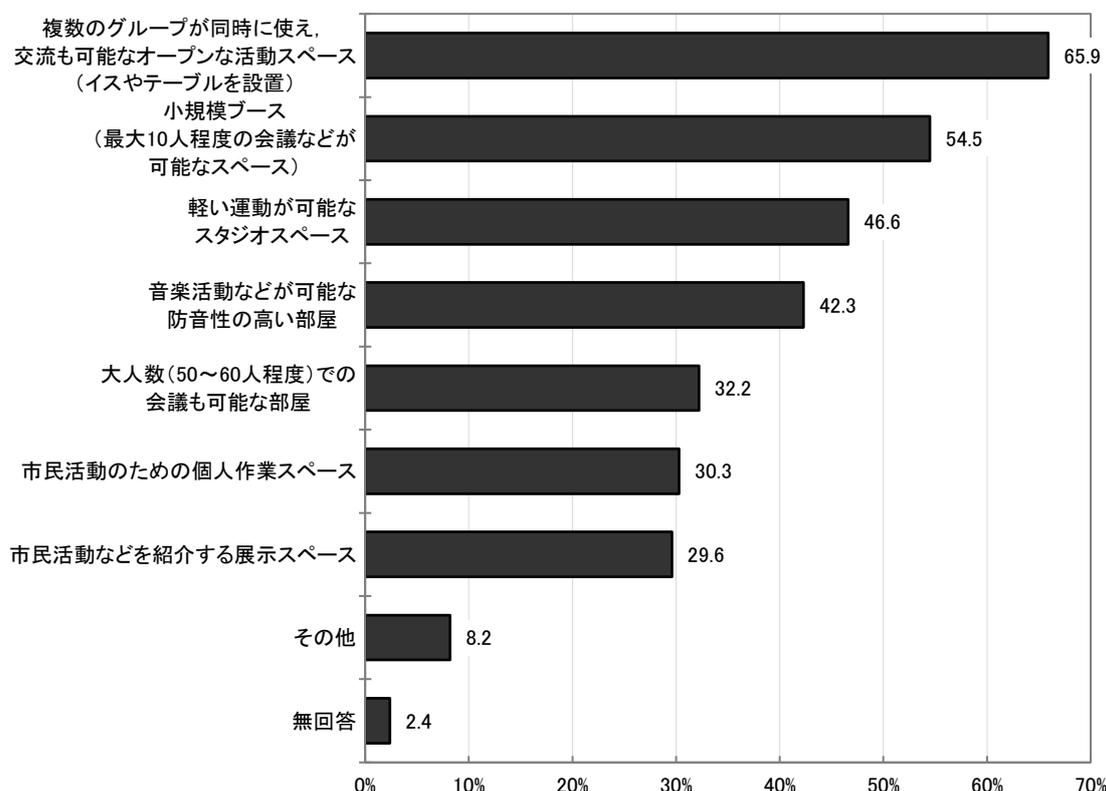
	年齢						
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	28	78	91	83	74	80	100
利用経験有り	-	-	1.1	-	1.4	1.3	18.0
利用経験無し	96.4	97.4	94.5	98.8	94.6	87.5	73.0
無回答	3.6	2.6	4.4	1.2	4.1	11.3	9.0

	地域							
	中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内 <small>(小学校区不明)</small>	市外
回答数	238	35	34	71	75	44	33	4
利用経験有り	2.5	11.4	2.9	5.6	8.0	-	-	-
利用経験無し	94.5	85.7	88.2	81.7	85.3	93.2	97.0	100.0
無回答	2.9	2.9	8.8	12.7	6.7	6.8	3.0	-

	職業等					
	正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	183	61	40	98	48	104
利用経験有り	0.5	-	10.0	8.2	-	7.7
利用経験無し	95.6	95.1	87.5	86.7	97.9	80.8
無回答	3.8	4.9	2.5	5.1	2.1	11.5

問2 「(仮称)まちづくり支援拠点施設」には、市民(個人、団体、企業)の活動を行う場の整備を考えています。どのような活動スペースを設けることが望ましいか、当てはまるものを5つまで選び、「○」を記入してください。

「複数のグループが同時に使え、交流も可能なオープンな活動スペース(イスやテーブルを設置)」が65.9%で最も高くなっています。次いで「小規模ブース(最大10人程度の会議などが可能なスペース)」が54.5%、「軽い運動が可能なスタジオスペース」が46.6%が続いています。



【その他回答(抜粋)】

(44件, 8.2%)

内容	年代	地域
施設の老朽化防止, 改善を望む	80歳代	中部
今ある施設まだ活動できる場所があるのでは	40歳代	神辺
500名程度の防音性の高い部屋。あらゆるスポーツの指導施設	80歳代	北部
トイレを増やして欲しい	60歳代	神辺
臨機応変に移動できる壁・備品	30歳代	南部
小さな子どもを遊ばせる所があれば, 小さな子どもがいても行きやすい	30歳代	東部
料理ができるキッチンスペース	30歳代	東部
舞台設備のあるホール(芸術文化などの活動に使用)	50歳代	神辺
Gym, リモートワーク, リモートオフィスとして使用可能な設備, シェア Office などとして使用可能な設備があると良い	40歳代	市内 (小学校区不明)
福山市の公共施設とのオンラインでのスペースを設ける	60歳代	中部
施設が旧市街周辺に集中していて利用しづらいのです。各地に分散して欲しい	50歳代	中部
クッキングスタジオ, DIYスタジオ, フラワースタジオ	40歳代	中部

性別で見ると、『女性』では「音楽活動などが可能な防音性の高い部屋」「軽い運動が可能なスタジオスペース」の割合が高くなっています。

子育て世帯別で見ると、『はい(子育て世帯)』では「大人数(50～60人程度)での会議も可能な部屋」の割合が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	534	254	277	3	144	348	42
複数のグループが同時に使え、交流も可能なオープンな活動スペース(イスやテーブルを設置)	65.9	65.4	66.1	100.0	66.0	65.5	69.0
小規模ブース(最大10人程度の会議などが可能なスペース)	54.5	52.8	56.0	66.7	54.9	54.9	50.0
市民活動などを紹介する展示スペース	29.6	32.3	27.1	33.3	24.3	32.2	26.2
市民活動のための個人作業スペース	30.3	26.4	34.3	-	31.9	29.9	28.6
大人数(50～60人程度)での会議も可能な部屋	32.2	36.6	28.2	33.3	38.2	29.9	31.0
音楽活動などが可能な防音性の高い部屋	42.3	35.4	48.0	100.0	39.6	42.8	47.6
軽い運動が可能なスタジオスペース	46.6	38.2	54.5	33.3	51.4	46.3	33.3
その他	8.2	10.6	5.8	33.3	8.3	8.3	7.1
無回答	2.4	3.5	1.4	-	0.7	2.6	7.1

年齢別で見ると、『10歳代』では「市民活動のための個人作業スペース」「音楽活動などが可能な防音性の高い部屋」の割合が高く、『60歳代』『70歳以上』では「複数のグループが同時に使え、交流も可能なオープンな活動スペース(イスやテーブルを設置)」の割合が高く、「市民活動のための個人作業スペース」の割合が低くなっています。

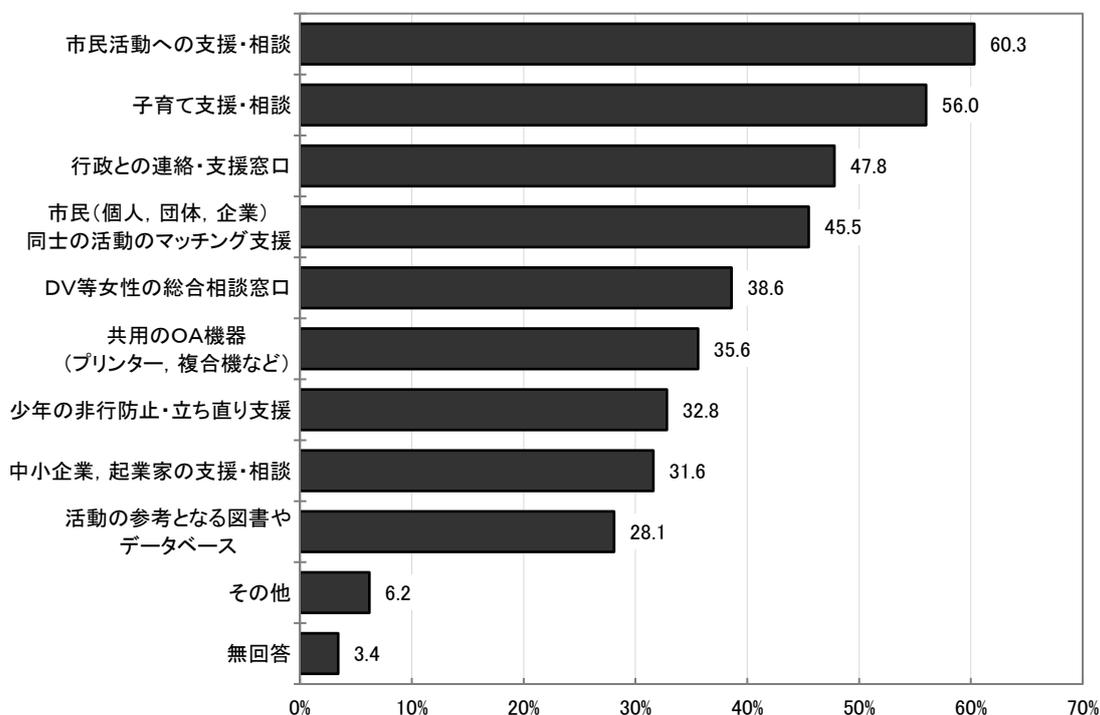
	年齢						
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	28	78	91	83	74	80	100
複数のグループが同時に使え、交流も可能なオープンな活動スペース(イスやテーブルを設置)	57.1	59.0	61.5	68.7	66.2	71.3	71.0
小規模ブース(最大10人程度の会議などが可能なスペース)	57.1	48.7	54.9	51.8	55.4	53.8	60.0
市民活動などを紹介する展示スペース	32.1	28.2	23.7	30.1	23.0	31.3	39.0
市民活動のための個人作業スペース	53.6	30.8	34.1	32.5	31.1	21.3	25.0
大人数(50～60人程度)での会議も可能な部屋	28.6	19.2	31.9	41.0	27.0	33.8	39.0
音楽活動などが可能な防音性の高い部屋	67.9	44.9	38.5	47.0	44.6	37.5	35.0
軽い運動が可能なスタジオスペース	50.0	47.4	46.2	50.6	47.3	37.5	49.0
その他	-	3.8	11.0	9.6	5.4	13.8	8.0
無回答	-	-	2.2	1.2	-	2.5	8.0

職業別でみると、『自営業』『主夫・主婦』では「複数のグループが同時に使え、交流も可能なオープンな活動スペース(イスやテーブルを設置)」の割合が高くなっています。『学生』では「複数のグループが同時に使え、交流も可能なオープンな活動スペース(イスやテーブルを設置)」の割合が低く、代わりに「市民活動などを紹介する展示スペース」「市民活動のための個人作業スペース」「音楽活動などが可能な防音性の高い部屋」「軽い運動が可能なスタジオスペース」の割合が高くなっています。

	職業等					
	正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	183	61	40	98	48	104
複数のグループが同時に使え、交流も可能なオープンな活動スペース(イスやテーブルを設置)	64.5	63.9	75.0	74.5	54.2	63.5
小規模ブース(最大10人程度の会議などが可能なスペース)	49.7	54.1	60.0	57.1	58.3	56.7
市民活動などを紹介する展示スペース	23.5	23.0	30.0	33.7	37.5	36.5
市民活動のための個人作業スペース	27.3	32.8	35.0	25.5	52.1	26.9
大人数(50～60人程度)での会議も可能な部屋	26.8	32.8	37.5	36.7	27.1	37.5
音楽活動などが可能な防音性の高い部屋	36.1	47.5	40.0	45.9	64.6	37.5
軽い運動が可能なスタジオスペース	43.2	50.8	40.0	54.1	52.1	43.3
その他	8.2	4.9	15.0	6.1	-	13.5
無回答	1.6	-	-	3.1	-	6.7

問3 「(仮称)まちづくり支援拠点施設」において、市民(個人, 団体, 企業)の活動を支援するためにはどのような機能が必要か、当てはまるもの全てに「○」を記入してください。

「市民活動への支援・相談」が60.3%で最も高くなっています。次いで「子育て支援・相談」が56.0%, 「行政との連絡・支援窓口」が47.8%が続いています。



【その他回答(抜粋)】

(32件, 6.0%)

内容	年代	地域
市の部署間の連携を強化して欲しい	80歳代	中部
居場所のない子どもや孤立しがちな高齢者が気軽に集まれる場所づくり	60歳代	神辺
まちづくり支援拠点施設で働くスタッフの教育。スタッフが良くなければ、どんなに立派な施設があっても宝の持ち腐れだと思うので	40歳代	中部
⑦「DV等女性の総合相談窓口」は「女性の」となっているが、男性でも相談できる窓口	10歳代	松永
ひきこもり, 社会活動参加など親だけでは困難な状況だと思うので立ち直り支援の力を借りたいと思っている人は多いのでは	50歳代	神辺
点字化・外国語に翻訳した資料, 外国語での問い合わせ窓口, 子供が直接利用しやすい相談窓口, デジタルに慣れていない人が相談できる窓口	40歳代	神辺
若い人, 家族が集まる施設にする必要がある	30歳代	東部
障がい者, LGBT, トランスジェンダー支援相談窓口 障がい者雇用支援(マッチング支援)	30歳代	東部
学生との連携支援を是非。教育の深化や, 郷土愛の育成に直結し, 後継者の育成にも繋がる	30歳代	中部
防災に関する啓蒙	60歳代	中部
情報発信ができる機能が必要。加えて情報発信してもらえるような施設を作ることが必要だと思う	20歳代	松永

性別で見ると、『女性』では「子育て支援・相談」「DV等女性の総合相談窓口」の割合が高くなっています。

子育て世帯別で見ると、『はい(子育て世帯)』では「中小企業、起業家の支援・相談」「子育て支援・相談」の割合が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	534	254	277	3	144	348	42
市民活動への支援・相談	60.3	60.2	59.9	100.0	61.1	61.5	47.6
市民(個人, 団体, 企業)同士の活動のマッチング支援	45.5	45.3	45.1	100.0	47.9	46.6	28.6
行政との連絡・支援窓口	47.8	51.6	44.4	33.3	42.4	50.6	42.9
中小企業, 起業家の支援・相談	31.6	31.1	31.8	66.7	38.2	29.3	28.6
子育て支援・相談	56.0	47.6	63.5	66.7	68.8	50.6	57.1
少年の非行防止・立ち直り支援	32.8	28.7	36.1	66.7	32.6	32.8	33.3
DV等女性の総合相談窓口	38.6	31.9	44.4	66.7	37.5	39.4	35.7
活動の参考となる図書やデータベース	28.1	26.4	29.6	33.3	31.3	27.0	26.2
共用のOA機器(プリンター, 複合機など)	35.6	32.7	37.9	66.7	36.1	36.2	28.6
その他	6.2	7.5	4.7	33.3	4.9	6.9	4.8
無回答	3.4	4.3	2.5	-	1.4	3.4	9.5

年齢別でみると、『10歳代』『30歳代』で共通して「市民活動への支援・相談」「中小企業、起業家の支援・相談」「子育て支援・相談」「DV等女性の総合相談窓口」、特に『10歳代』では「活動の参考となる図書やデータベース」「共用のOA機器(プリンター、複合機など)」、『70歳以上』では「行政との連絡・支援窓口」の割合が高くなっています。

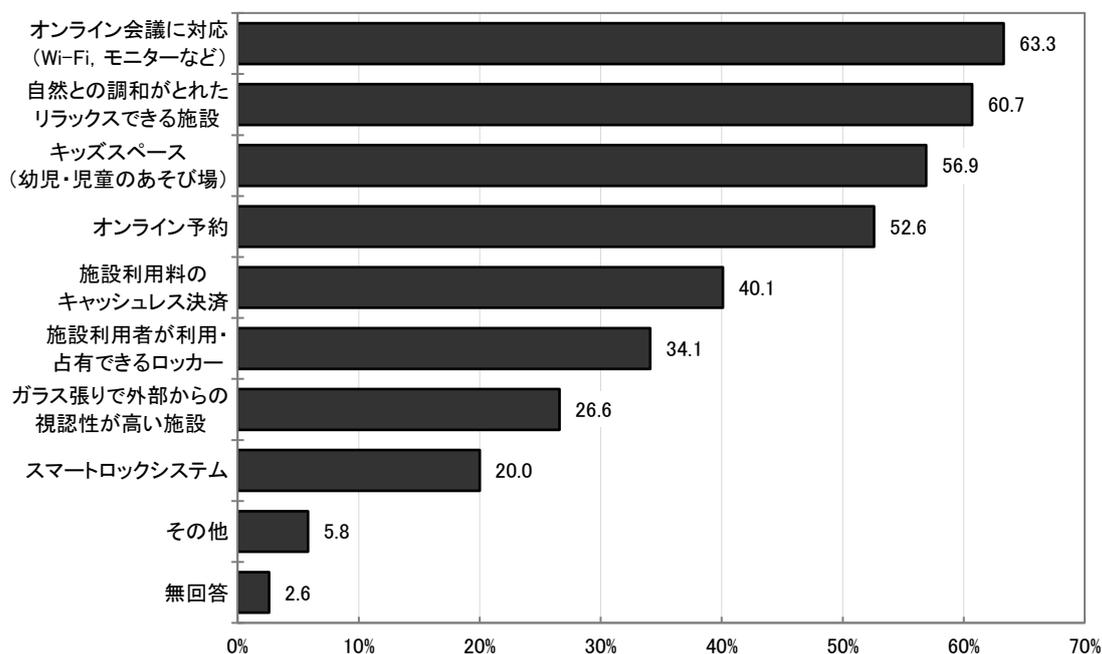
	年齢						
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	28	78	91	83	74	80	100
市民活動への支援・相談	67.9	55.1	69.2	65.1	52.7	58.8	57.0
市民(個人、団体、企業)同士の活動のマッチング支援	50.0	43.6	49.5	55.4	48.6	38.8	37.0
行政との連絡・支援窓口	25.0	42.3	47.3	49.4	40.5	52.5	59.0
中小企業、起業家の支援・相談	39.3	29.5	39.6	37.3	35.1	21.3	25.0
子育て支援・相談	64.3	55.1	69.2	57.8	47.3	53.8	49.0
少年の非行防止・立ち直り支援	35.7	24.4	35.2	30.1	33.8	30.0	40.0
DV等女性の総合相談窓口	46.4	39.7	46.2	33.7	40.5	37.5	32.0
活動の参考となる図書やデータベース	39.3	25.6	29.7	27.7	33.8	23.8	25.0
共用のOA機器(プリンター、複合機など)	46.4	38.5	30.8	41.0	35.1	26.3	38.0
その他	3.6	2.6	4.4	6.0	5.4	13.8	6.0
無回答	-	1.3	3.3	-	1.4	3.8	10.0

職業別でみると、『非正規雇用労働者』『主夫・主婦』『学生』で共通して「子育て支援・相談」,『自営業』『主夫・主婦』で共通して「行政との連絡・支援窓口」,『主夫・主婦』『学生』で共通して「活動の参考となる図書やデータベース」「共用のOA機器(プリンター,複合機など)」の割合が高くなっています。

	職業等					
	正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	183	61	40	98	48	104
市民活動への支援・相談	55.7	62.3	60.0	58.2	64.6	67.3
市民(個人, 団体, 企業)同士の活動のマッチング支援	44.3	41.0	55.0	45.9	50.0	44.2
行政との連絡・支援窓口	37.7	49.2	72.5	53.1	41.7	52.9
中小企業, 起業家の支援・相談	31.7	24.6	50.0	31.6	41.7	24.0
子育て支援・相談	55.7	62.3	47.5	68.4	62.5	41.3
少年の非行防止・立ち直り支援	29.0	32.8	25.0	43.9	33.3	31.7
DV等女性の総合相談窓口	37.2	42.6	27.5	41.8	50.0	34.6
活動の参考となる図書やデータベース	26.8	21.3	22.5	33.7	41.7	25.0
共用のOA機器(プリンター, 複合機など)	37.2	29.5	25.0	40.8	41.7	32.7
その他	5.5	1.6	5.0	7.1	4.2	10.6
無回答	2.2	1.6	-	3.1	-	9.6

問4 「(仮称)まちづくり支援拠点施設」を充実し, 使いやすく魅力的な場とするためにはどのような設備等が必要か, 当てはまるもの全てに「○」を記入してください。

「オンライン会議に対応(Wi-Fi, モニターなど)」が63.3%で最も高くなっています。次いで「自然との調和がとれたリラックスできる施設」が60.7%, 「キッズスペース(幼児・児童のあそび場)」が56.9%が続いています。



## 【その他回答（抜粋）】

(31件, 5.8%)

内容	年代	地域
インターネットを使用しない高齢者にも理解できるような施設づくりもして欲しい	60歳代	神辺
高齢者や障害者・児はもちろん誰でも利用できるようにバリアフリー化に広いトイレ	30歳代	東部
見栄を張る建物ではなく、健常者同様に障害者の方々でも、使い易く安価な施設	50歳代	市内 (小学校区不明)
川崎市こども夢パークのような、子どもから青年が自由に集える場所を、世代を越えた市民の手で運営できる設備	50歳代	神辺
防音性があるweb会議通話ブース(STATION BOOTHみたいなもの)	30歳代	南部
リモートワーク可能なオープンスペース(個室じゃなくローパーティションで区切る等した空間で、仕事もディスカッションも出来る)みたいな場所	50歳代	中部
誰でも利用できる屋外芝生スペース(キッチンカーやカフェ併設)、遊具スペース、誰でも行きやすく訪問機会が増える様にする事で、地域住民に受け入れられ、施設としてもより活性化すると思う	40歳代	中部
防災拠点としても機能できるような設備(非常用電源、災害時トイレ、給水設備など)	30歳代	東部
駐車場の確保	60歳代	北部
学生が立ち寄りやすい雰囲気づくりを。こども食堂や大学の就職支援などとの連携があってもいいと思う。担い手不足の今、未来を見据えたまちづくり活動が急務	30歳代	中部
施設内Wi-Fi環境、大判カラーコピー(MAX:A1)、バリアフリー、他自治体のまちづくり活動資料閲覧所、無料駐車場、サテライトスタジオ、軽食スペース	60歳代	中部

性別で見ると、『女性』では「キッズスペース(幼児・児童のあそび場)」の割合が高くなっています。

子育て世帯別で見ると、『はい(子育て世帯)』では「オンライン予約」「施設利用料のキャッシュレス決済」「キッズスペース(幼児・児童のあそび場)」の割合が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	534	254	277	3	144	348	42
オンライン会議に対応(Wi-Fi, モニターなど)	63.3	62.2	64.3	66.7	68.1	62.1	57.1
オンライン予約	52.6	47.6	57.0	66.7	66.7	48.0	42.9
スマートロックシステム	20.0	20.5	19.9	-	24.3	18.7	16.7
施設利用料のキャッシュレス決済	40.1	35.4	44.0	66.7	45.8	38.8	31.0
施設利用者が利用・占有できるロッカー	34.1	33.5	34.3	66.7	35.4	33.0	38.1
キッズスペース(幼児・児童のあそび場)	56.9	48.8	64.6	33.3	72.2	50.9	54.8
ガラス張りで外部からの視認性が高い施設	26.6	24.8	28.5	-	27.8	27.3	16.7
自然との調和がとれたリラックスできる施設	60.7	56.3	64.3	100.0	57.6	61.5	64.3
その他	5.8	6.3	4.7	66.7	7.6	4.6	9.5
無回答	2.6	3.1	2.2	-	2.1	2.6	4.8

年齢別でみると、『20 歳代』から『50 歳代』までで共通して「オンライン予約」「施設利用料のキャッシュレス決済」の割合が高くなっています。『10 歳代』では「スマートロックシステム」「施設利用者が利用・占有できるロッカー」「自然との調和がとれたリラックスできる施設」、『10 歳代』『40 歳代』では「オンライン会議に対応 (Wi-Fi, モニターなど)」、『30 歳代』『40 歳代』では「キッズスペース (幼児・児童のあそび場)」の割合が高くなっています。

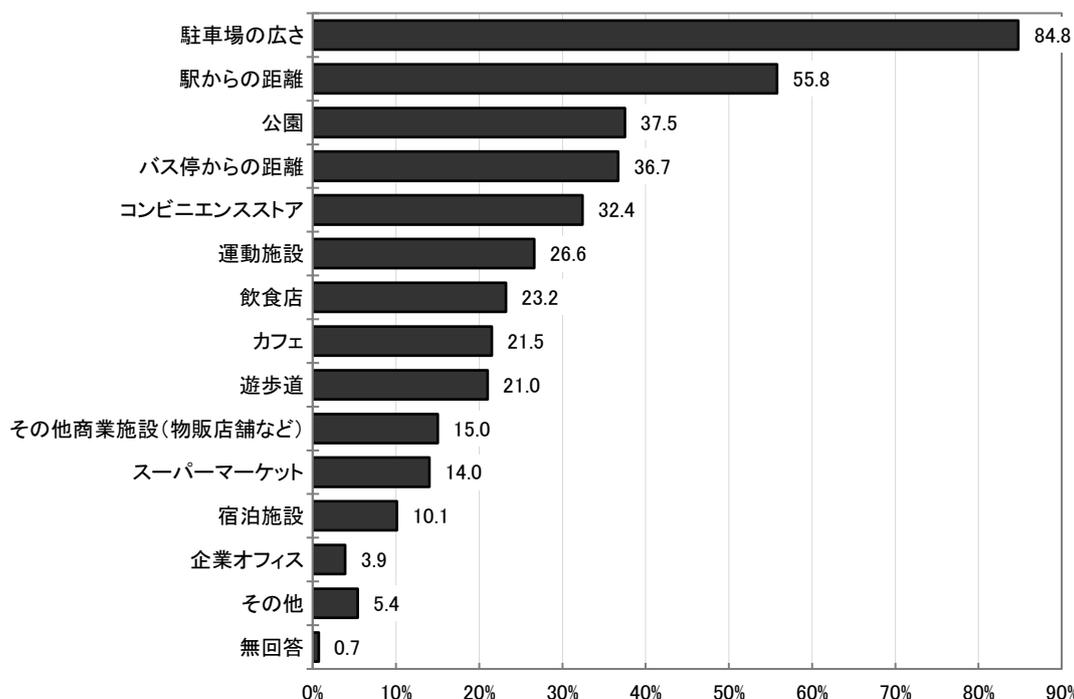
	年齢						
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	28	78	91	83	74	80	100
オンライン会議に対応 (Wi-Fi, モニターなど)	82.1	65.4	68.1	78.3	63.5	47.5	52.0
オンライン予約	46.4	59.0	68.1	74.7	59.5	32.5	28.0
スマートロックシステム	46.4	21.8	19.8	22.9	20.3	11.3	16.0
施設利用料のキャッシュレス決済	39.3	46.2	46.2	48.2	45.9	28.7	28.0
施設利用者が利用・占有できるロッカー	42.9	30.8	34.1	28.9	31.1	33.8	41.0
キッズスペース (幼児・児童のあそび場)	46.4	57.7	75.8	63.9	41.9	53.8	50.0
ガラス張りで外部からの視認性が高い施設	28.6	21.8	29.7	27.7	24.3	32.5	23.0
自然との調和がとれたリラックスできる施設	71.4	53.8	58.2	59.0	58.1	65.0	65.0
その他	-	2.6	6.6	10.8	4.1	10.0	3.0
無回答	-	2.6	2.2	-	-	3.8	7.0

職業別でみると、『正規雇用労働者』『自営業』で共通して「オンライン予約」、『非正規雇用労働者』『主夫・主婦』で共通して「キッズスペース (幼児・児童のあそび場)」、『学生』では「オンライン会議に対応 (Wi-Fi, モニターなど)」「スマートロックシステム」「施設利用料のキャッシュレス決済」、『自営業』『主夫・主婦』『学生』で共通して「施設利用者が利用・占有できるロッカー」の割合が高くなっています。

	職業等					
	正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	183	61	40	98	48	104
オンライン会議に対応 (Wi-Fi, モニターなど)	65.0	65.6	57.5	61.2	83.3	53.8
オンライン予約	65.0	54.1	62.5	42.9	56.3	33.7
スマートロックシステム	19.1	19.7	20.0	18.4	41.7	13.5
施設利用料のキャッシュレス決済	45.4	39.3	45.0	40.8	47.9	25.0
施設利用者が利用・占有できるロッカー	27.9	26.2	40.0	41.8	43.8	35.6
キッズスペース (幼児・児童のあそび場)	57.4	70.5	47.5	63.3	47.9	50.0
ガラス張りで外部からの視認性が高い施設	20.8	27.9	32.5	35.7	31.3	23.1
自然との調和がとれたリラックスできる施設	55.7	59.0	67.5	64.3	70.8	59.6
その他	6.0	4.9	2.5	6.1	2.1	8.7
無回答	2.2	-	-	2.0	-	7.7

問5 「(仮称) まちづくり支援拠点施設」の設置場所の立地条件や周辺環境について、特に重視した方がよいと思うものを5つまで選び、「○」を記入してください。

「駐車場の広さ」が84.8%で最も高くなっています。次いで「駅からの距離」が55.8%、「公園」が37.5%で続いています。



【その他回答 (抜粋)】

(29件, 5.4%)

内容	年代	地域
市内(中心部)ばかり施設が充実する。中心部外の施設の充実が必要	70歳代	北部
車での出入庫時の動線の良さ	40歳代	東部
高齢者の人でも利用しやすい施設づくりをして欲しい	60歳代	神辺
市民の健康管理に役立つ器具の利用のできる場所をできるだけ多く設置して欲しい。近いほど良いので	70歳代	中部
福山市中心部はとにかく駐車場が少ない。そして高い。郊外に住む人は車が必要。中心部は、わかりにくく、何を利用するにもわかりやすく、行きやすい環境にして欲しい	50歳代	北部
市民が運営する『子ども食堂』など、非営利団体のための設備	50歳代	神辺
バスの便数が多い、まわローズのルートに入っている	40歳代	中部
駐車場は作らずに公共交通機関を使うことで利用しやすくなる設備を考えたい。バスやタクシー等の公共交通機関の充実を目的	40歳代	市内 (小学校区不明)
屋食が楽しめる(キッチンカーが日替わりで来るとか、複数車(店)来るとか)	50歳代	中部
移動に困難さのある者でも公共交通機関等の利用によって全市域からアクセス可能なインフラを有する場所。無ければ整備する必要がある	30歳代	東部
老人大学の機能もあるので、車利用前提の場所を避けて欲しい。危険だ。交通手段の少ない学生(お金の少ない学生は特に、交通費用を気にする。私もそうだった。)にとっても、場所は重大事項だ。まちづくり活動は駅前活性化にも直結するので、是非駅に近い場所をお願いする	30歳代	中部

性別では、大きな差はみられません。

子育て世帯別でみると、『はい(子育て世帯)』では「公園」の割合が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	534	254	277	3	144	348	42
駅からの距離	55.8	55.1	56.3	66.7	44.4	57.5	81.0
バス停からの距離	36.7	34.6	38.6	33.3	31.3	38.5	40.5
駐車場の広さ	84.8	87.0	82.7	100.0	88.2	83.9	81.0
公園	37.5	33.5	41.5	-	45.8	35.6	23.8
コンビニエンスストア	32.4	31.1	33.6	33.3	36.8	30.5	33.3
スーパーマーケット	14.0	11.0	17.0	-	14.6	14.1	11.9
飲食店	23.2	24.0	22.4	33.3	21.5	24.1	21.4
カフェ	21.5	17.3	25.3	33.3	18.8	21.8	28.6
遊歩道	21.0	19.7	22.4	-	22.2	21.0	16.7
運動施設	26.6	31.1	22.4	33.3	26.4	28.4	11.9
宿泊施設	10.1	10.2	10.1	-	9.0	10.9	7.1
その他商業施設(物販店舗など)	15.0	16.9	13.0	33.3	10.4	17.2	11.9
企業オフィス	3.9	5.1	2.9	-	4.2	3.7	4.8
その他	5.4	6.3	4.3	33.3	4.9	5.5	7.1
無回答	0.7	0.4	1.1	-	0.7	0.6	2.4

年齢別でみると、『10 歳代』『20 歳代』で特に「駅からの距離」の割合が高く、「駐車場の広さ」は全年齢で割合が高いですが、『10 歳代』が低い割合となっています。そのほか、若年層では「コンビニエンスストア」「カフェ」の割合が高い傾向にあり、『30 歳代』では「公園」、『60 歳代』では「遊歩道」、『70 歳以上』では「バス停からの距離」「スーパーマーケット」「運動施設」の割合が高くなっています。

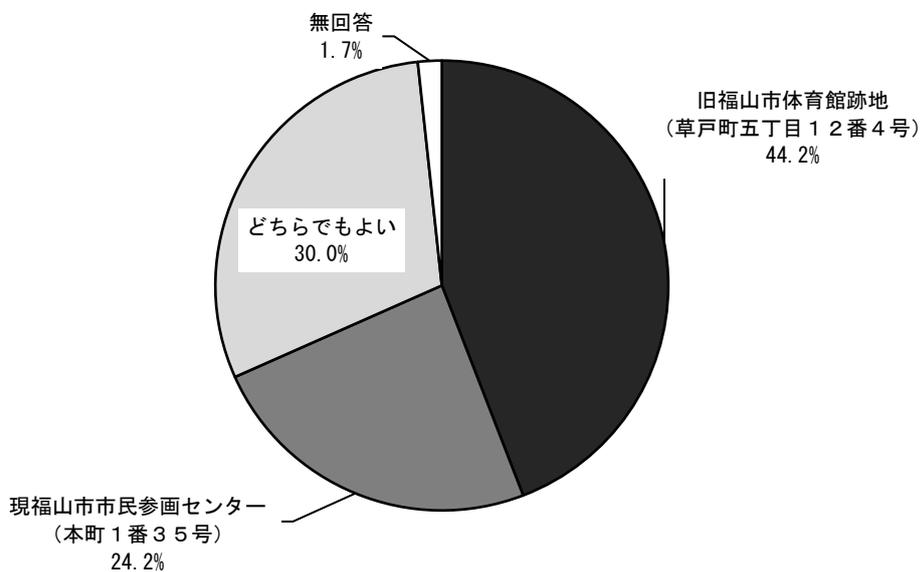
	年齢						
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	28	78	91	83	74	80	100
駅からの距離	67.9	62.8	52.7	49.4	54.1	52.5	59.0
バス停からの距離	28.6	39.7	40.7	32.5	27.0	37.5	43.0
駐車場の広さ	64.3	82.1	86.8	89.2	83.8	85.0	88.0
公園	32.1	26.9	52.7	36.1	29.7	40.0	38.0
コンビニエンスストア	46.4	38.5	41.8	33.7	25.7	11.3	36.0
スーパーマーケット	17.9	10.3	18.7	8.4	12.2	10.0	21.0
飲食店	32.1	24.4	20.9	21.7	18.9	20.0	29.0
カフェ	28.6	32.1	23.1	13.3	17.6	21.3	20.0
遊歩道	17.9	19.2	20.9	20.5	17.6	28.7	20.0
運動施設	25.0	17.9	22.0	24.1	27.0	28.7	38.0
宿泊施設	14.3	7.7	6.6	8.4	9.5	11.3	15.0
その他商業施設(物販店舗など)	3.6	19.2	5.5	15.7	14.9	20.0	19.0
企業オフィス	3.6	10.3	-	3.6	2.7	5.0	3.0
その他	-	1.3	4.4	10.8	5.4	8.8	4.0
無回答	-	1.3	-	-	-	2.5	1.0

職業別で見ると、『自営業』『主夫・主婦』で共通して「公園」の割合が高くなっています。『学生』では「駐車場の広さ」の割合が低く、「駅からの距離」「コンビニエンスストア」「飲食店」「カフェ」の割合が高くなっています。

	職業等					
	正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	183	61	40	98	48	104
駅からの距離	51.9	50.8	47.5	57.1	70.8	60.6
バス停からの距離	35.0	34.4	32.5	38.8	33.3	42.3
駐車場の広さ	86.9	88.5	90.0	82.7	68.8	86.5
公園	35.0	34.4	42.5	43.9	35.4	36.5
コンビニエンスストア	33.9	37.7	27.5	25.5	39.6	31.7
スーパーマーケット	11.5	11.5	10.0	19.4	14.6	16.3
飲食店	23.5	21.3	12.5	22.4	31.3	25.0
カフェ	18.6	19.7	25.0	24.5	33.3	18.3
遊歩道	18.6	13.1	25.0	29.6	20.8	20.2
運動施設	23.5	29.5	30.0	28.6	22.9	28.8
宿泊施設	8.7	4.9	15.0	17.3	14.6	4.8
その他商業施設(物販店舗など)	13.1	8.2	27.5	17.3	14.6	15.4
企業オフィス	4.4	1.6	7.5	3.1	8.3	1.9
その他	4.4	4.9	-	6.1	2.1	10.6
無回答	0.5	-	-	2.0	-	1.0

問6 「(仮称)まちづくり支援拠点施設」の候補地として、現在、次の2か所を考えています。よりふさわしいと思う場所を選び、「○」を記入してください。

「旧福山市体育館跡地(草戸町五丁目12番4号)」が44.2%で最も高く、次いで「どちらでもよい」が30.0%となっています。



性別、子育て世帯別ともに大きな差はみられません。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	534	254	277	3	144	348	42
旧福山市体育館跡地 (草戸町五丁目12番4号)	44.2	48.0	41.2	-	46.5	43.4	42.9
現福山市市民参画センター (本町1番35号)	24.2	22.8	25.6	-	26.4	23.0	26.2
どちらでもよい	30.0	27.6	31.8	66.7	26.4	31.6	28.6
無回答	1.7	1.6	1.4	33.3	0.7	2.0	2.4

年齢別でみると、『10歳代』『30歳代』では「どちらでもよい」、『20歳代』では「現福山市市民参画センター(本町1番35号)」、『40歳代』『70歳以上』では「旧福山市体育館跡地(草戸町五丁目12番4号)」の割合が高くなっています。

	年齢						
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	28	78	91	83	74	80	100
旧福山市体育館跡地 (草戸町五丁目12番4号)	21.4	39.7	36.3	49.4	43.2	45.0	57.0
現福山市市民参画センター (本町1番35号)	28.6	29.5	24.2	19.3	24.3	27.5	20.0
どちらでもよい	50.0	29.5	39.6	31.3	32.4	23.8	18.0
無回答	-	1.3	-	-	-	3.8	5.0

地域別でみると、『中部』では「旧福山市体育館跡地(草戸町五丁目12番4号)」、『南部』『神辺』では「どちらでもよい」、『松永』『東部』では「現福山市市民参画センター(本町1番35号)」の割合が高い傾向にあります。

	地域							
	中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	238	35	34	71	75	44	33	4
旧福山市体育館跡地 (草戸町五丁目12番4号)	51.3	40.0	32.4	43.7	45.3	31.8	27.3	25.0
現福山市市民参画センター (本町1番35号)	23.9	17.1	29.4	22.5	30.7	22.7	15.2	50.0
どちらでもよい	23.5	40.0	35.3	32.4	21.3	43.2	57.6	25.0
無回答	1.3	2.9	2.9	1.4	2.7	2.3	-	-

職業別でみると、『正規雇用労働者』では「旧福山市体育館跡地(草戸町五丁目12番4号)」、『学生』では「現福山市市民参画センター(本町1番35号)」 「どちらでもよい」の割合が高くなっています。

	職業等					
	正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	183	61	40	98	48	104
旧福山市体育館跡地 (草戸町五丁目12番4号)	49.2	39.3	47.5	45.9	25.0	44.2
現福山市市民参画センター (本町1番35号)	19.7	27.9	30.0	22.4	33.3	25.0
どちらでもよい	30.6	32.8	22.5	27.6	41.7	26.9
無回答	0.5	-	-	4.1	-	3.8

市民参画センターの利用頻度別でみると、『月1回以上』利用する者では「旧福山市体育館跡地(草戸町五丁目12番4号)」と「現福山市市民参画センター(本町1番35号)」とで差が出ていません。

	全体	『市民参画センター』の利用頻度		
		月1回以上	年数回程度	利用経験無し
回答数	534	24	104	380
旧福山市体育館跡地 (草戸町五丁目12番4号)	44.2	37.5	51.0	43.4
現福山市市民参画センター (本町1番35号)	24.2	37.5	31.7	21.1
どちらでもよい	30.0	20.8	15.4	33.9
無回答	1.7	4.2	1.9	1.6

男女共同参画センター・青少年センターの利用頻度別でみると、利用頻度に関わりなく、「旧福山市体育館跡地(草戸町五丁目12番4号)」の割合が高くなっています。

	全体	『男女共同参画センター・青少年センター』 の利用頻度		
		月1回以上	年 数回程度	利用経験無し
回答数	534	7	51	444
旧福山市体育館跡地 (草戸町五丁目12番4号)	44.2	42.9	56.9	43.2
現福山市市民参画センター (本町1番35号)	24.2	28.6	21.6	24.5
どちらでもよい	30.0	28.6	21.6	30.4
無回答	1.7	-	-	1.8

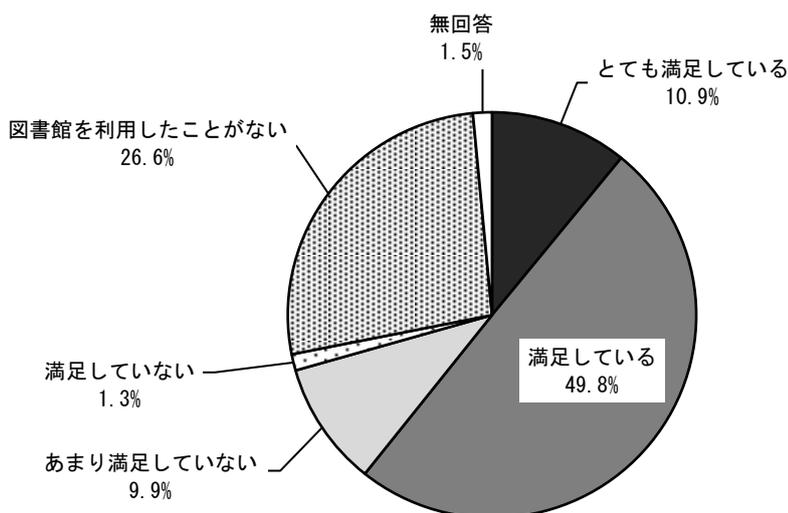
老人大学の利用頻度別でみると、『利用経験有り』では「旧福山市体育館跡地(草戸町五丁目12番4号)」の割合が特に高くなっています。

	全体	『老人大学』の利用頻度	
		利用経験有り	利用経験無し
回答数	534	21	484
旧福山市体育館跡地 (草戸町五丁目12番4号)	44.2	66.7	44.0
現福山市市民参画センター (本町1番35号)	24.2	14.3	24.6
どちらでもよい	30.0	19.0	29.8
無回答	1.7	-	1.7

## 4 「図書館の利用，子どもの読書活動」について

問1 図書館の資料の貸出や各種サービスについて，次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。

「満足している」が49.8%で突出しています。「図書館を利用したことがない」が26.6%，「とても満足している」が10.9%が続いています。満足度（「とても満足している」+「満足している」）は6割以上となっており，不満度（「満足していない」+「あまり満足していない」）は1割程度となっています。



性別，子育て世帯別ともに，大きな差はみられません。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	534	254	277	3	144	348	42
とても満足している	10.9	8.7	13.0	-	13.9	10.1	7.1
満足している	49.8	49.2	50.2	66.7	50.0	48.9	57.1
あまり満足していない	9.9	8.7	10.8	33.3	11.8	8.9	11.9
満足していない	1.3	2.0	0.7	-	1.4	1.1	2.4
図書館を利用したことがない	26.6	30.3	23.5	-	22.2	29.0	21.4
無回答	1.5	1.2	1.8	-	0.7	2.0	-

年齢別で見ると、『20歳代』『60歳代』では「図書館を利用したことがない」、『40歳代』では「満足している」の割合が高くなっています。

	年齢						
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	28	78	91	83	74	80	100
とても満足している	14.3	14.1	12.1	10.8	10.8	5.0	11.0
満足している	53.6	43.6	48.4	56.6	51.4	51.2	47.0
あまり満足していない	10.7	7.7	11.0	14.5	10.8	6.3	9.0
満足していない	3.6	-	1.1	-	5.4	1.3	-
図書館を利用したことがない	17.9	33.3	27.5	18.1	20.3	32.5	30.0
無回答	-	1.3	-	-	1.4	3.8	3.0

地域別で見ると、『神辺』では「満足していない」の割合が高くなっています。

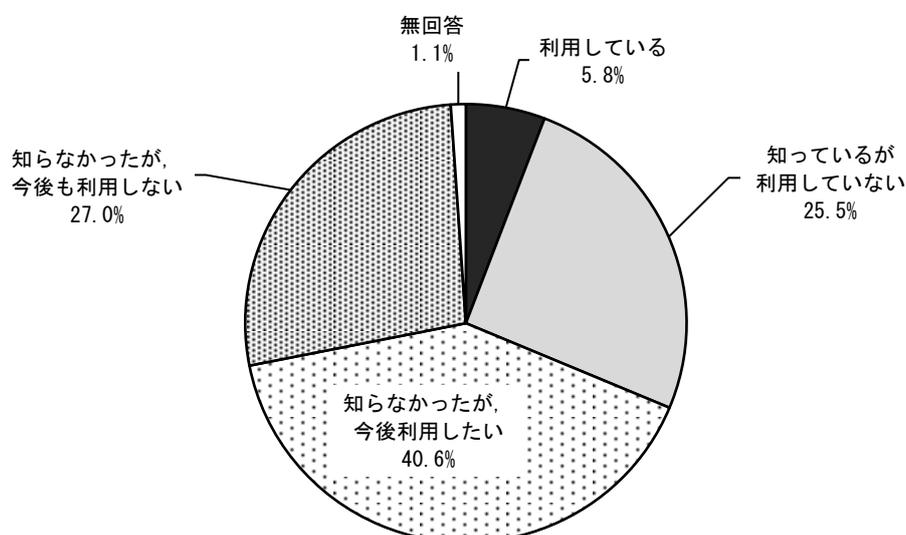
	地域							
	中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	238	35	34	71	75	44	33	4
とても満足している	13.0	11.4	8.8	4.2	13.3	6.8	12.1	-
満足している	51.7	48.6	50.0	53.5	45.3	47.7	42.4	50.0
あまり満足していない	9.7	5.7	14.7	11.3	12.0	11.4	3.0	-
満足していない	0.8	5.7	-	-	-	6.8	-	-
図書館を利用したことがない	23.1	22.9	23.5	29.6	29.3	27.3	42.4	50.0
無回答	1.7	5.7	2.9	1.4	-	-	-	-

職業別で見ると、『非正規雇用労働者』では「とても満足している」、『自営業』では「満足している」「図書館を利用したことがない」、『学生』では「とても満足している」「満足している」の割合が高くなっています。

	職業等					
	正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	183	61	40	98	48	104
とても満足している	10.4	19.7	5.0	12.2	16.7	4.8
満足している	47.0	50.8	55.0	45.9	56.3	52.9
あまり満足していない	10.4	14.8	2.5	12.2	6.3	8.7
満足していない	2.2	1.6	-	-	2.1	1.0
図書館を利用したことがない	29.0	13.1	37.5	26.5	18.8	29.8
無回答	1.1	-	-	3.1	-	2.9

問2 2020年（令和2年）7月から導入した「電子図書館貸出サービス」について、次の中から当てはまるものに「○」を記入してください。

「知らなかったが、今後利用したい」が40.6%で最も高く、次いで「知らなかったが、今後も利用しない」が27.0%、「知っているが利用していない」が25.5%で続いています。



性別で見ると、『男性』では「知らなかったが、今後も利用しない」の割合が高くなっています。

子育て世帯別で見ると、『はい(子育て世帯)』では「知らなかったが、今後利用したい」の割合が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	534	254	277	3	144	348	42
利用している	5.8	6.7	5.1	-	9.0	4.9	2.4
知っているが利用していない	25.5	22.8	27.8	33.3	26.4	26.1	16.7
知らなかったが、今後利用したい	40.6	37.4	44.0	-	48.6	37.6	38.1
知らなかったが、今後も利用しない	27.0	32.3	21.7	66.7	14.6	30.2	42.9
無回答	1.1	0.8	1.4	-	1.4	1.1	-

年齢別でみると、『10歳代』『70歳以上』では「知らなかったが、今後も利用しない」、『20歳代』『40歳代』では「知らなかったが、今後利用したい」、『60歳代』では「知っているが利用していない」「知らなかったが、今後も利用しない」の割合が高くなっています。

	年齢						
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	28	78	91	83	74	80	100
利用している	7.1	2.6	9.9	9.6	1.4	5.0	5.0
知っているが利用していない	17.9	19.2	20.9	27.7	25.7	32.5	29.0
知らなかったが、今後利用したい	39.3	59.0	41.8	49.4	43.2	26.3	28.0
知らなかったが、今後も利用しない	35.7	17.9	27.5	13.3	27.0	33.8	37.0
無回答	-	1.3	-	-	2.7	2.5	1.0

地域別でみると、『南部』では「知らなかったが、今後利用したい」、『松永』では「知らなかったが、今後も利用しない」の割合が高くなっています。

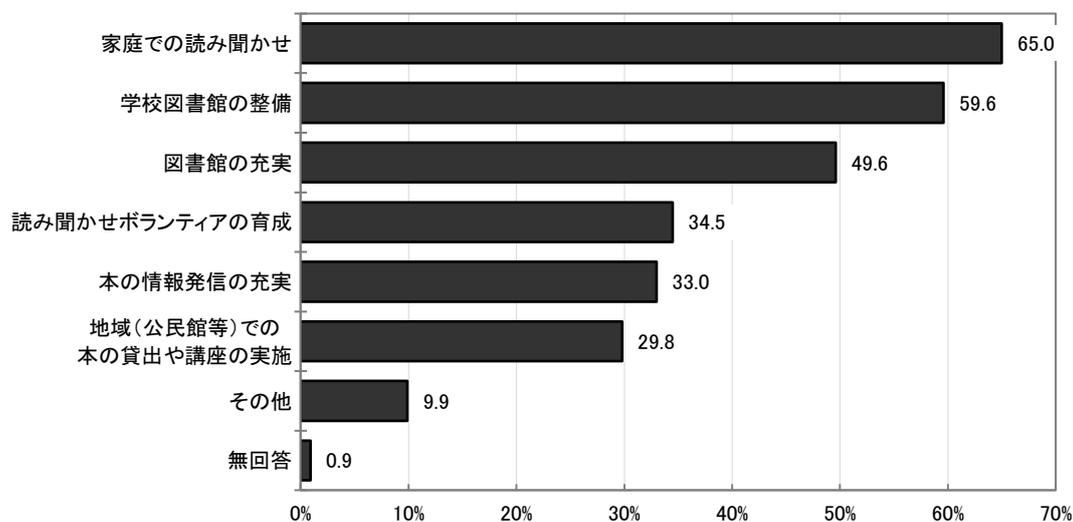
	地域							
	中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	238	35	34	71	75	44	33	4
利用している	6.7	2.9	5.9	2.8	6.7	6.8	6.1	-
知っているが利用していない	27.3	20.0	14.7	23.9	26.7	25.0	30.3	25.0
知らなかったが、今後利用したい	39.9	48.6	38.2	43.7	41.3	36.4	33.3	75.0
知らなかったが、今後も利用しない	25.2	20.0	41.2	28.2	25.3	31.8	30.3	-
無回答	0.8	8.6	-	1.4	-	-	-	-

職業別でみると、『正規雇用労働者』『学生』では「知らなかったが、今後利用したい」、『非正規雇用労働者』では「利用している」、『主夫・主婦』では「知っているが利用していない」の割合が高くなっています。

	職業等					
	正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	183	61	40	98	48	104
利用している	4.9	11.5	7.5	7.1	4.2	2.9
知っているが利用していない	21.3	29.5	25.0	35.7	16.7	25.0
知らなかったが、今後利用したい	48.1	36.1	40.0	29.6	58.3	32.7
知らなかったが、今後も利用しない	24.6	23.0	25.0	25.5	20.8	38.5
無回答	1.1	-	2.5	2.0	-	1.0

問3 子どもの読書活動の推進に有効と思うもの全てに「○」を記入してください。

「家庭での読み聞かせ」が 65.0%で最も高くなっています。次いで「学校図書館の整備」が 59.6%、「図書館の充実」が 49.6%が続いています。



【その他回答（抜粋）】

(53件, 9.9%)

内容	年代	地域
図書館の今の場所はとてもいいと思う。駅のそばに返却ポストを1つおいてもらえると助かる。また、移動図書館まではいかないが頼んでいるものを駅で受け取れるといいと思う	50歳代	南部
利用しやすくすること。読書習慣をつける工夫が欲しい	80歳代	中部
読み聞かせボランティアの人数をもう少し大人数にして欲しい	70歳代	中部
移動図書館を利用している。親切にしてください助かっている	80歳代	中部
子ども自身の足で行ける範囲内に存在すること	60歳代	中部
公民館に現在所蔵している図書について再点検し、存廃を検討されてはどうか	80歳代	神辺
身近なところから進める必要を感じる。興味を持たせることが必要	60歳代	東部
図書館で子供が楽しめるイベントがあると嬉しい	40歳代	東部
学校図書館は使いにくい印象。もっと子どもたちが利用しやすい環境を整えてほしい	40歳代	北部
家族が家で読書すること、家に蔵書があること	30歳代	中部

性別で見ると、『女性』では「学校図書館の整備」の割合が高くなっています。

子育て世帯別で見ると、『はい(子育て世帯)』では「図書館の充実」「学校図書館の整備」の割合が高くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	534	254	277	3	144	348	42
家庭での読み聞かせ	65.0	61.0	68.6	66.7	68.1	64.9	54.8
図書館の充実	49.6	48.8	50.2	66.7	54.9	46.6	57.1
学校図書館の整備	59.6	53.7	65.3	66.7	66.0	56.9	59.5
読み聞かせボランティアの育成	34.5	33.1	36.1	-	27.8	36.2	42.9
地域(公民館等)での本の貸出や講座の実施	29.8	29.9	29.2	66.7	27.1	31.0	28.6
本の情報発信の充実	33.0	31.9	33.9	33.3	32.6	32.5	38.1
その他	9.9	9.8	9.7	33.3	11.1	8.6	16.7
無回答	0.9	0.8	1.1	-	0.7	1.1	-

年齢別で見ると、「10歳代」では「学校図書館の整備」「本の情報発信の充実」、『20歳代』では「学校図書館の整備」、『30歳代』では「家庭での読み聞かせ」「図書館の充実」「学校図書館の整備」、『40歳代』では「本の情報発信の充実」、『60歳代』では「読み聞かせボランティアの育成」、『70歳以上』では「家庭での読み聞かせ」「読み聞かせボランティアの育成」「地域(公民館等)での本の貸出や講座の実施」の割合が高くなっています。

	年齢						
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	28	78	91	83	74	80	100
家庭での読み聞かせ	50.0	64.1	74.7	62.7	55.4	63.7	71.0
図書館の充実	53.6	47.4	58.2	53.0	54.1	50.0	36.0
学校図書館の整備	67.9	66.7	70.3	63.9	47.3	55.0	51.0
読み聞かせボランティアの育成	32.1	34.6	28.6	26.5	23.0	42.5	49.0
地域(公民館等)での本の貸出や講座の実施	32.1	26.9	29.7	15.7	27.0	21.3	52.0
本の情報発信の充実	46.4	34.6	29.7	42.2	32.4	27.5	28.0
その他	-	2.6	8.8	19.3	10.8	10.0	11.0
無回答	-	1.3	-	-	-	3.8	1.0

地域別でみると、『南部』では「図書館の充実」「地域(公民館等)での本の貸出や講座の実施」,『松永』では「家庭での読み聞かせ」「本の情報発信の充実」,『東部』では「家庭での読み聞かせ」「図書館の充実」,『神辺』では「学校図書館の整備」の割合が高くなっています。

	地域							
	中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	238	35	34	71	75	44	33	4
家庭での読み聞かせ	63.9	68.6	76.5	57.7	70.7	68.2	54.5	75.0
図書館の充実	46.6	57.1	52.9	42.3	58.7	50.0	54.5	50.0
学校図書館の整備	58.4	48.6	52.9	60.6	62.7	65.9	63.6	100.0
読み聞かせボランティアの育成	36.1	34.3	35.3	32.4	32.0	38.6	30.3	-
地域(公民館等)での本の貸出や講座の実施	27.7	42.9	23.5	23.9	33.3	34.1	30.3	75.0
本の情報発信の充実	34.5	28.6	38.2	29.6	36.0	34.1	24.2	-
その他	11.3	8.6	2.9	7.0	12.0	11.4	9.1	-
無回答	1.3	2.9	-	1.4	-	-	-	-

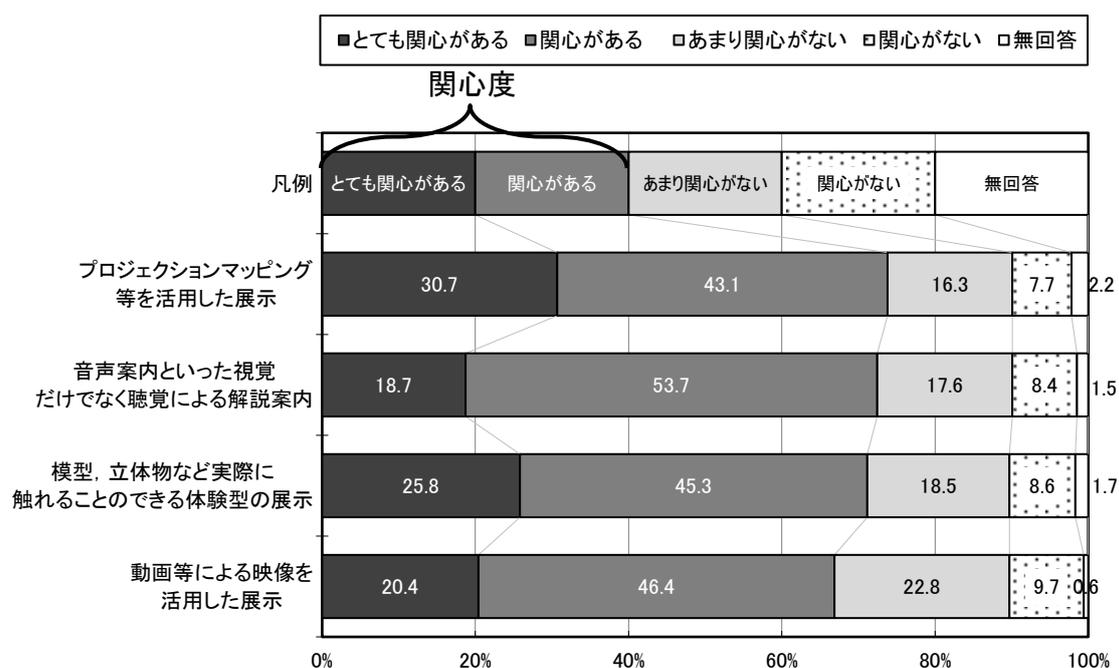
職業別でみると、『主夫・主婦』では「家庭での読み聞かせ」「読み聞かせボランティアの育成」「地域(公民館等)での本の貸出や講座の実施」,『学生』では「学校図書館の整備」「読み聞かせボランティアの育成」「本の情報発信の充実」の割合が高くなっています。

	職業等					
	正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	183	61	40	98	48	104
家庭での読み聞かせ	60.1	65.6	62.5	76.5	58.3	66.3
図書館の充実	53.0	47.5	42.5	53.1	50.0	44.2
学校図書館の整備	58.5	63.9	45.0	59.2	70.8	59.6
読み聞かせボランティアの育成	25.1	31.1	32.5	40.8	41.7	44.2
地域(公民館等)での本の貸出や講座の実施	22.4	24.6	25.0	38.8	29.2	39.4
本の情報発信の充実	36.6	29.5	32.5	26.5	45.8	28.8
その他	9.3	11.5	12.5	9.2	2.1	13.5
無回答	0.5	-	-	2.0	-	1.9

## 5 福山城築城 400 年記念事業について

問1 展示のあり方について、あなたの関心度に当てはまるものに「○」を記入してください。

全項目とも『関心がある』が最も高くなっています。また関心度(『とても関心がある』+『関心がある』)は7割程度となっています。その中でも「プロジェクションマッピング等を活用した展示」が最も割合が高くなっています。



性別では、大きな差はみられません。

子育て世帯別でみると、『はい(子育て世帯)』では「動画等による映像を活用した展示」「音声案内といった視覚だけでなく聴覚による解説案内」の割合が低くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	534	254	277	3	144	348	42
動画等による映像を活用した展示	66.8	69.7	64.6	33.3	60.5	69.5	66.7
模型、立体物など実際に触れることのできる体験型の展示	68.1	67.7	68.6	66.7	66.0	69.8	61.9
音声案内といった視覚だけでなく聴覚による解説案内	72.4	69.3	75.1	100.0	65.9	74.7	76.2
プロジェクションマッピング等を活用した展示	73.8	71.3	76.5	33.3	78.5	74.2	54.7

年齢別でみると、『10 歳代』では「模型，立体物など実際に触れることのできる体験型の展示」「音声案内といった視覚だけでなく聴覚による解説案内」、『20 歳代』『50 歳代』では「模型，立体物など実際に触れることのできる体験型の展示」、『30 歳代』では「模型，立体物など実際に触れることのできる体験型の展示」「プロジェクションマッピング等を活用した展示」、『40 歳代』では「プロジェクションマッピング等を活用した展示」、『70 歳以上』では「動画等による映像を活用した展示」「音声案内といった視覚だけでなく聴覚による解説案内」の割合が高くなっています。

	年齢						
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	28	78	91	83	74	80	100
動画等による映像を活用した展示	71.4	59.0	59.4	63.9	71.6	63.8	80.0
模型，立体物など実際に触れることのできる体験型の展示	82.1	75.7	73.7	68.7	74.4	63.8	68.0
音声案内といった視覚だけでなく聴覚による解説案内	82.1	66.7	70.3	67.5	77.0	70.0	79.0
プロジェクションマッピング等を活用した展示	71.5	78.2	81.4	84.4	71.6	62.5	66.0

地域別でみると、『松永』では「音声案内といった視覚だけでなく聴覚による解説案内」、『東部』では「動画等による映像を活用した展示」の割合が高くなっています。

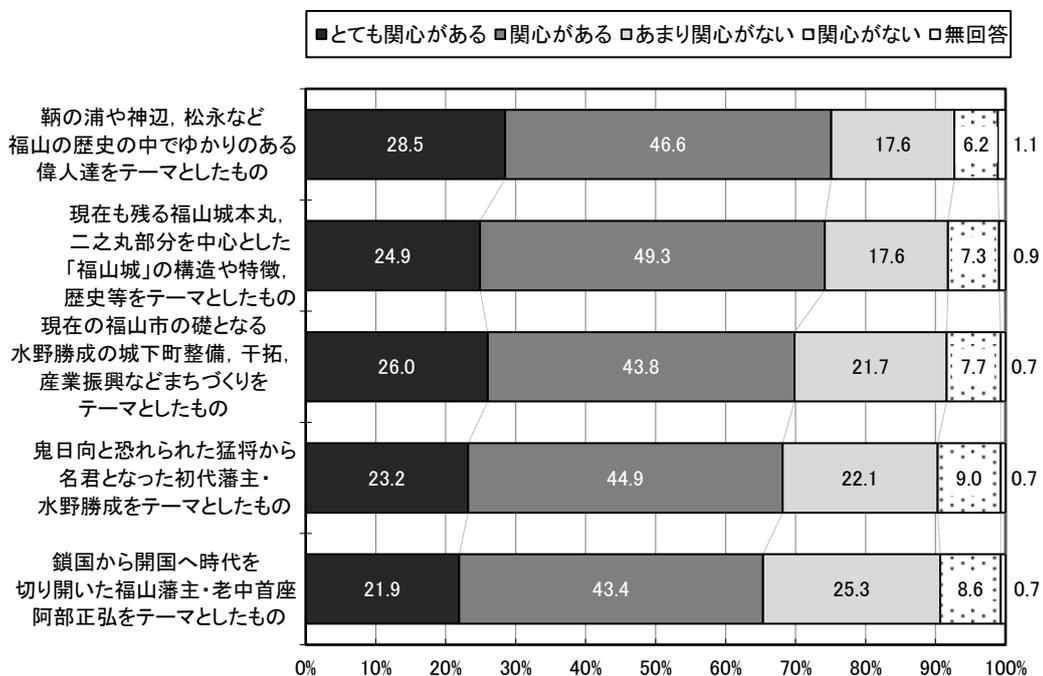
	地域							
	中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	238	35	34	71	75	44	33	4
動画等による映像を活用した展示	68.5	48.5	64.7	67.6	74.7	70.4	51.5	75.0
模型，立体物など実際に触れることのできる体験型の展示	73.9	68.6	73.5	67.6	69.3	72.7	60.7	75.0
音声案内といった視覚だけでなく聴覚による解説案内	71.8	74.3	79.4	69.0	70.6	77.3	72.8	75.0
プロジェクションマッピング等を活用した展示	75.6	77.2	76.5	67.6	70.7	65.9	84.9	75.0

職業別で見ると、『非正規雇用労働者』では「模型、立体物など実際に触れることのできる体験型の展示」「プロジェクションマッピング等を活用した展示」、『自営業』では「音声案内といった視覚だけでなく聴覚による解説案内」、『主夫・主婦』では「動画等による映像を活用した展示」「模型、立体物など実際に触れることのできる体験型の展示」「音声案内といった視覚だけでなく聴覚による解説案内」、『学生』ではすべての項目の割合が高くなっています。

	職業等					
	正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	183	61	40	98	48	104
動画等による映像を活用した展示	61.8	59.0	67.5	74.5	75.0	69.3
模型、立体物など実際に触れることのできる体験型の展示	67.2	77.0	62.5	78.6	85.4	64.4
音声案内といった視覚だけでなく聴覚による解説案内	65.5	68.9	77.5	77.6	79.2	76.9
プロジェクションマッピング等を活用した展示	75.4	80.3	67.5	77.6	79.2	63.4

問2 リニューアル後に館内で上映する映像コンテンツのテーマについて、あなたの関心度に当てはまるものに「○」を記入してください。

全項目で『関心がある』が最も高くなっています。また関心度(『とても関心がある』+『関心がある』)は7割程度となっています。その中でも「鞆の浦や神辺、松永など福山の歴史の中でゆかりのある偉人達をテーマとしたもの」が最も割合が高くなっています。



性別では、大きな差はみられません。

子育て世帯別でみると、『はい(子育て世帯)』では「現在も残る福山城本丸、二之丸部分を中心とした「福山城」の構造や特徴、歴史等をテーマとしたもの」「鎖国から開国へ時代を切り開いた福山藩主・老中首座阿部正弘をテーマとしたもの」「現在の福山市の礎となる水野勝成の城下町整備、干拓、産業振興などまちづくりをテーマとしたもの」「鞆の浦や神辺、松永など福山の歴史の中でゆかりのある偉人達をテーマとしたもの」の割合が低くなっています。

	全体	性別			子育て世帯		
		男性	女性	その他	はい	いいえ	不明
回答数	534	254	277	3	144	348	42
現在も残る福山城本丸、二之丸部分を中心とした「福山城」の構造や特徴、歴史等をテーマとしたもの	74.2	77.9	70.8	66.7	66.7	77.8	69.1
鬼日向と恐れられた猛将から名君となった初代藩主・水野勝成をテーマとしたもの	68.1	67.7	68.6	66.7	66.0	69.8	61.9
鎖国から開国へ時代を切り開いた福山藩主・老中首座 阿部正弘をテーマとしたもの	65.3	69.3	61.8	66.7	55.6	69.3	66.6
現在の福山市の礎となる水野勝成の城下町整備、干拓、産業振興などまちづくりをテーマとしたもの	69.8	74.0	66.4	33.3	61.9	73.8	64.3
鞆の浦や神辺、松永など福山の歴史の中でゆかりのある偉人達をテーマとしたもの	75.1	73.6	76.2	100.0	68.8	78.5	69.0

年齢別でみると、『50 歳代』では「鬼日向と恐れられた猛将から名君となった初代藩主・水野勝成をテーマとしたもの」「鎖国から開国へ時代を切り開いた福山藩主・老中首座阿部正弘をテーマとしたもの」「鞆の浦や神辺、松永など福山の歴史の中でゆかりのある偉人達をテーマとしたもの」、『60 歳代』では「現在の福山市の礎となる水野勝成の城下町整備、干拓、産業振興などまちづくりをテーマとしたもの」、『70 歳以上』ではすべての項目の割合が高くなっています。

	年齢						
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
回答数	28	78	91	83	74	80	100
現在も残る福山城本丸、二之丸部分を中心とした「福山城」の構造や特徴、歴史等をテーマとしたもの	75.0	60.3	68.2	73.5	78.4	75.0	87.0
鬼日向と恐れられた猛将から名君となった初代藩主・水野勝成をテーマとしたもの	60.7	59.0	61.6	67.5	74.3	65.1	82.0
鎖国から開国へ時代を切り開いた福山藩主・老中首座 阿部正弘をテーマとしたもの	60.8	53.8	57.2	57.9	70.3	68.8	83.0
現在の福山市の礎となる水野勝成の城下町整備、干拓、産業振興などまちづくりをテーマとしたもの	53.6	55.1	61.6	69.9	74.3	77.6	84.0
鞆の浦や神辺、松永など福山の歴史の中でゆかりのある偉人達をテーマとしたもの	71.4	69.2	70.4	74.7	81.1	71.3	84.0

地域別でみると、『南部』では「鞆の浦や神辺，松永など福山の歴史の中でゆかりのある偉人達をテーマとしたもの」の割合が高くなっています。

	地域							
	中部	南部	松永	北部	東部	神辺	市内(小学校区不明)	市外
回答数	238	35	34	71	75	44	33	4
現在も残る福山城本丸，二之丸部分を中心とした「福山城」の構造や特徴，歴史等をテーマとしたもの	75.2	74.3	70.6	73.2	74.7	75.0	66.7	100.0
鬼日向と恐れられた猛将から名君となった初代藩主・水野勝成をテーマとしたもの	72.7	62.8	67.7	66.2	68.0	61.4	54.6	75.0
鎖国から開国へ時代を切り開いた福山藩主・老中首座 阿部正弘をテーマとしたもの	69.8	68.6	61.7	62.0	60.0	68.2	48.5	75.0
現在の福山市の礎となる水野勝成の城下町整備，干拓，産業振興などまちづくりをテーマとしたもの	72.7	68.6	61.8	71.8	74.7	63.6	51.6	75.0
鞆の浦や神辺，松永など福山の歴史の中でゆかりのある偉人達をテーマとしたもの	74.8	82.8	73.5	70.4	72.0	79.6	78.8	100.0

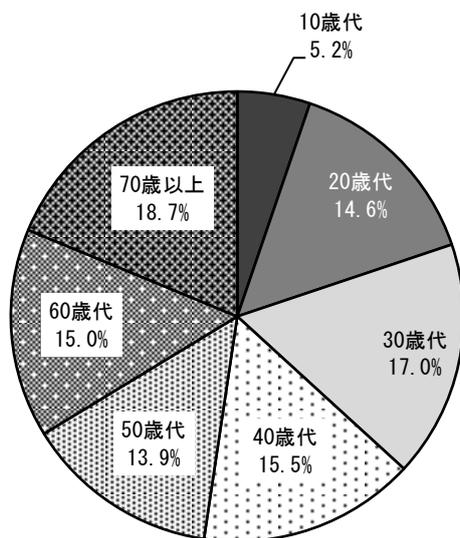
職業別でみると、『自営業』では「現在も残る福山城本丸，二之丸部分を中心とした「福山城」の構造や特徴，歴史等をテーマとしたもの」「現在の福山市の礎となる水野勝成の城下町整備，干拓，産業振興などまちづくりをテーマとしたもの」，『主夫・主婦』ではすべての項目，『学生』では「現在も残る福山城本丸，二之丸部分を中心とした「福山城」の構造や特徴，歴史等をテーマとしたもの」「鞆の浦や神辺，松永など福山の歴史の中でゆかりのある偉人達をテーマとしたもの」の割合が高くなっています。

	職業等					
	正規雇用労働者	非正規雇用労働者	自営業	主夫・主婦	学生	その他
回答数	183	61	40	98	48	104
現在も残る福山城本丸，二之丸部分を中心とした「福山城」の構造や特徴，歴史等をテーマとしたもの	70.5	65.6	80.0	81.7	79.2	74.1
鬼日向と恐れられた猛将から名君となった初代藩主・水野勝成をテーマとしたもの	64.0	65.5	67.5	78.5	64.6	69.2
鎖国から開国へ時代を切り開いた福山藩主・老中首座 阿部正弘をテーマとしたもの	57.9	62.3	67.5	73.5	66.7	71.1
現在の福山市の礎となる水野勝成の城下町整備，干拓，産業振興などまちづくりをテーマとしたもの	66.1	68.9	80.0	75.5	62.5	71.2
鞆の浦や神辺，松永など福山の歴史の中でゆかりのある偉人達をテーマとしたもの	72.2	72.1	75.0	83.7	81.3	71.1

## 6 属性

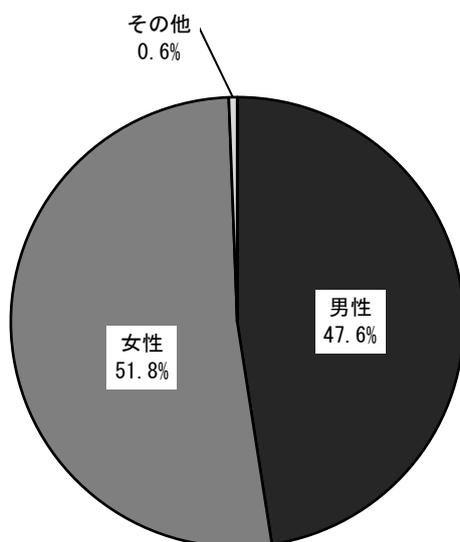
### ① 年齢

「70歳以上」が18.7%で最も高くなっています。次いで「30歳代」が17.0%、「40歳代」が15.5%が続いています。



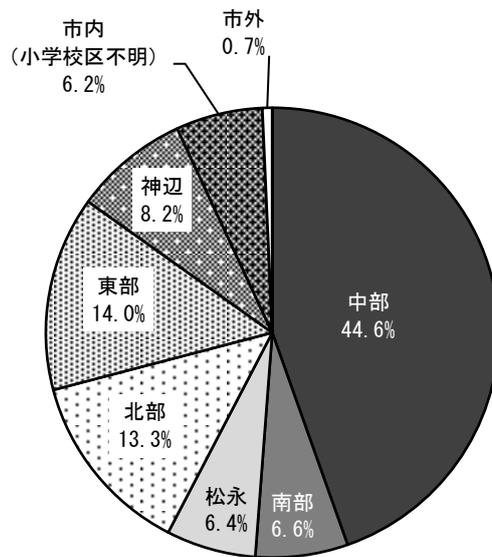
### ② 性別

「女性」が51.8%、「男性」が47.6%となっています。



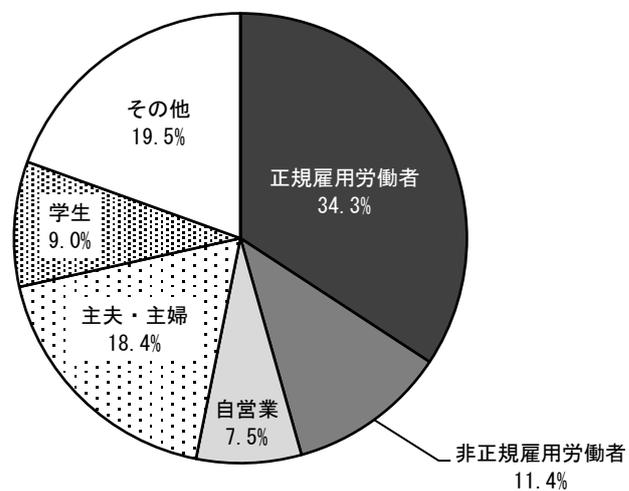
### ③ 地域

「中部」が44.6%で突出しています。次いで「東部」が14.0%、「北部」が13.3%が続いています。



### ④ 職業等

「正規雇用労働者」が34.3%で突出しています。次いで「主夫・主婦」が18.4%が続いています。



⑤ 子育て世帯

---

「いいえ」が65.1%を占めています。

---

